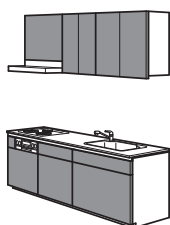


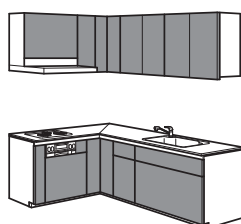
TOTO

システムキッチン ザ・クラッソ THE CRASSO

I型

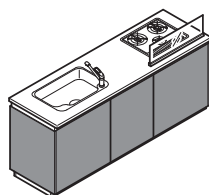
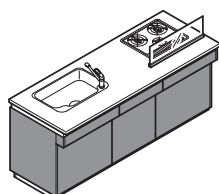
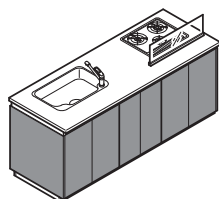


L型



フラット 対面型

D750タイプ

D970
1段引き出しタイプD970
開き扉タイプ

- 本書を必ずお読みのうえ、正しく取り付けしてください。
- 本書では基本となる部材の組立・設置方法を説明しています。
- 本書と併せて、各部材に付属の組立・設置説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けしてください。
- 取り付け完了後には、試運転および各部の検査を行い異常のないことを確認してください。
- 総合取扱説明書および各種取扱説明書・保証書は付属の保管袋に入れてシンクキャビネット内に保管してお客様にお引き渡ししてください。

総合組立・設置説明書

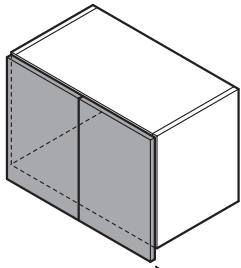
もくじ	ページ
安全上のご注意	3
1. 取り付け前の作業	5
1. 部材の確認.....	5
2. 設置場所の確認.....	5
3. 基準線の墨出し.....	5
4. キッチンパネルの取り付け.....	6
5. 取り付け前に外す部材.....	6
6. 配管用加工.....	8
2. ユニットの取り付け	10
基本取り付け要領.....	10
I型.....	14
L型.....	15
フラット対面型 (D750タイプ).....	16
フラット対面型 (D970 1段引き出しタイプ) ..	20
フラット対面型 (D970 開き扉タイプ)	23
(レイアウトにより、組立・設置手順が異なります)	
周辺ユニット.....	25
3. 部材の取り付け	27
1. けこみパネル.....	27
2. 天井フィラー.....	28
3. エンドパネル.....	29
4. キャビネット内の部材.....	30
(排水金具ガード・浄水器カートリッジホルダー・	
フライパンフック・その他)	
5. 排水金具・水栓金具・機器類・その他 ..	31
6. 取っ手.....	31
4. 着脱と調整	32
1. 扉.....	32
2. 引き出し.....	32
3. キャッチ機構.....	36
5. コーキング処理	37
6. 清掃・検査・養生	39

総合組立・設置説明書

THE CRASSO 特徴と注意点

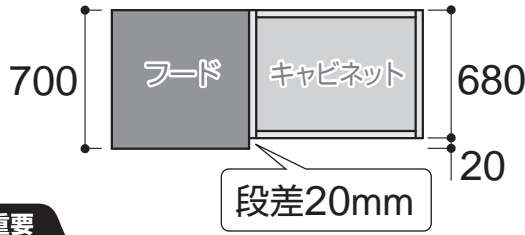
POINT 1

ウォールキャビネット



キャビネット底板より
扉がでています。

ウォールキャビネットとフードの取り合い
(ミドルウォールの場合)

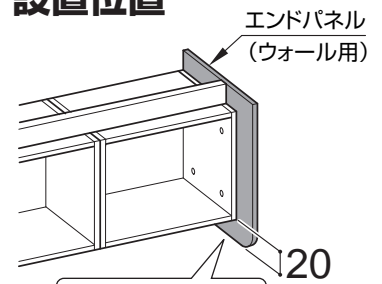


重要

キャビネットは上下の方向性があります。
必ず上下を確認して取り付けてください。

POINT 2

エンドパネル(ウォール用)の
設置位置



段差20mm

▶ P29

天井フィラー

フード

ウォールキャビネット

POINT 6

キャビネット色は
**ホワイト・
ダークグレー**の
2色あります。

キッチンパネル

発泡パッキン

カウンター

調理機器

水栓金具

シンク

エンドパネル
(フロアインセット用)

けこみパネル

コンロ用
フロアキャビネット

調理
スペース用
フロア
キャビネット

シンク用
フロアキャビネット

60

POINT 3

けこみ高さは
カウンター高さに関わらず
60mmです。
巾木等との干渉に注意
してください。

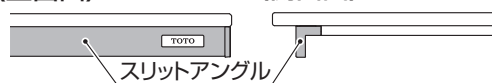
けこみ部は
けこみパネルを
取り付けます。 ▶ P27

POINT 4

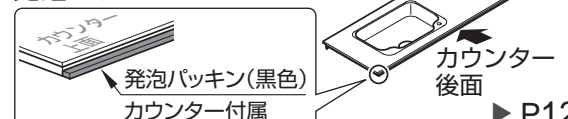
カウンターが**フラット形状**になりバックガード
と水返しがありません。
前面下部には**スリットアングル**が付いています。

〈正面図〉

〈側面図〉



カウンター後面に必ず
発泡パッキンを取り付けてください。

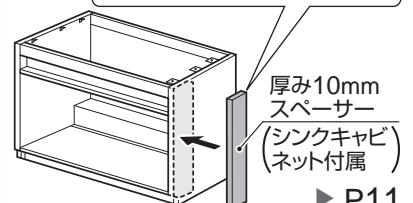


▶ P12

POINT 5

シンク側に横壁がある場合
スペーサー付きシンクキャビネット付属の
スペーサーを必ず取り付けてください。

レイアウト端のキャビ
ネットに取り付ける。



▶ P11

安全上のご注意

取り付け前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
この説明書ではシステムキッチンを安全に正しく取り付けいただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この記号は、してはけない「禁止」内容です。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

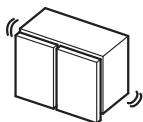


この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

ウォールキャビネットは、建築壁の構造を確かめて付属の指定の壁固定ねじで確実に取り付ける。壁固定ねじは締めすぎて空回りしないよう確実に取り付ける。

取り付けを誤ると、使用中に取付ねじがゆるみウォールキャビネットが落下して、けがをすることがあります。



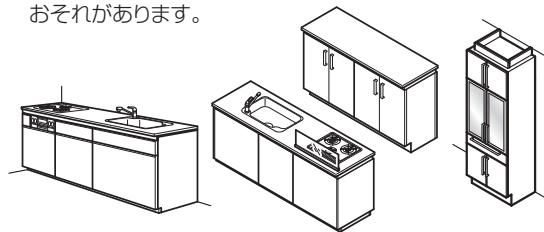
※壁固定部には木さん(90mm×30mm)、耐荷重1960 N/m (200kg f/m)が必要です。合板を使用する場合は必ず厚みが12mm以上のJAS規格品を使用してください。
※電動昇降ウォールの場合は必ず木さん(90mm×30mm)を使用してください。

ウォールキャビネット裏面が露出する場合は必ず裏面処理を行う。

キャビネットが吸湿することにより、キャビネットの強度が低下し、落下してけがをすることがあります。

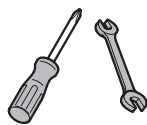
- ・フロアキャビネット、トールキャビネット(収納ユニット)は必ず壁面に固定する
- ・対面型(フラット対面・間仕切り仕様など)は必ず付属のねじで床固定する

※床暖房の場合は、ねじ固定しないで接着剤で床固定する。その際使用するエポキシ系接着剤の指示に従い、接着面の処理(サンディングやプライマー塗布等)を行う。取り付けを誤ると使用中にキャビネットが転倒してけがをすることがあります。



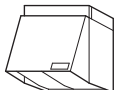
水道・ガス・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者・指定業者」が行う。

火災・感電・水漏れ・ガス漏れの原因となります。



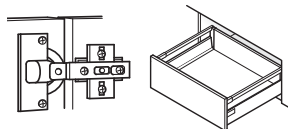
キッチンに組み込まれている水栓・調理機器・フード・その他機器については、それぞれの商品の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う。

取り付けを誤ると、思わぬ事故や故障の原因となります。



取り付け完了後は、扉や引き出しの傾き・がたつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

扉の取り付けに異常があると、使用中に落下してけがをすることがあります。



ステンレスカウンターやシンクなどの金属製品およびキッチンパネルを取り扱うときは、必ず保護手袋をする。

切断面に触れるとけがをすることがあります。



必ず実行

有機溶剤(シンナー・アセトンなど)は使用しない。変色・変質の原因になります。

取り付け・仕上げに使われる接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って正しく使用する。

誤った使い方をすると、人体に影響が出たりキッチン部材の損傷や劣化の原因となります。



禁止

組立・設置説明書に記載されている内容以外で製品の現場加工や改造(梁欠き加工・丁番やレールの位置ずらしなど)をしない。

キャビネットや扉、引き出しが落下しけがをすることがあります。

注意



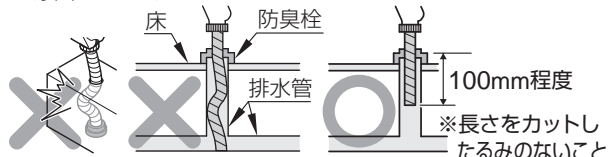
必ず実行

集合住宅等の高圧洗浄が行われる現場は、ジャバラの排水管は使用しないで偏心対応排水キットまたは直管(現場手配)にて接続する。

排水管が破損し、漏水の原因となります。

ジャバラの排水管(付属品)で接続する場合は、
・U字型に曲げたり、たるんだ状態で取り付けない
・長いまま排水管に差し込み、横管に当たる状態で取り付けない

排水能力の低下、および防臭栓部から水があふれて、床を汚す原因となります。



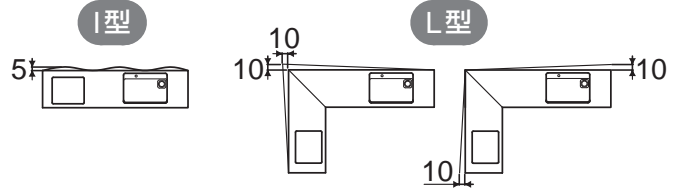
■ 事前建築工事

⚠ 注意

- ・壁固定部には施工図に従って木さん(90mm×30mm)、耐荷重1960N/m (200kg f/m)が必要、合板を使用する場合は必ず厚みが12mm以上のJAS規格品を使用する
- ・キッチンユニットは1キャビネットあたり200kg程度の重量があるため、全長に合わせた総重量でもたわみ・沈みの起こらない床構造および強度にする
床強度が弱いと床のたわみ・沈みが生じ、不具合の原因になります。

キッチン取り付け壁面の水平・垂直、コーナーの直角等の精度が出ていること

壁面の平面度およびL型時の直角度の精度により、建築躯体、壁面への被水、汚損などが生じるおそれがあります。カウンター止水パッキン(発泡パッキン)を確実につぶすために平面度は5mm、L型の直角度は10mm以内におさえてください。



必ず実行

カウンター取り付け壁面は耐水性を有する仕様とし、継ぎ目部にも防水のため目止めを行う

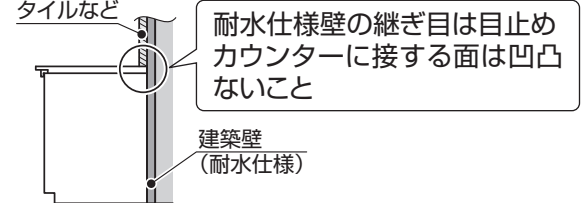
カウンター周辺からの吸水による、躯体への被水の原因となります。床から750mm~950mmの高さ範囲で、吸水防止のための目止めをしてください。

【耐水性を有する仕様例】

先貼り



後貼り



■ システムキッチンの工事区分

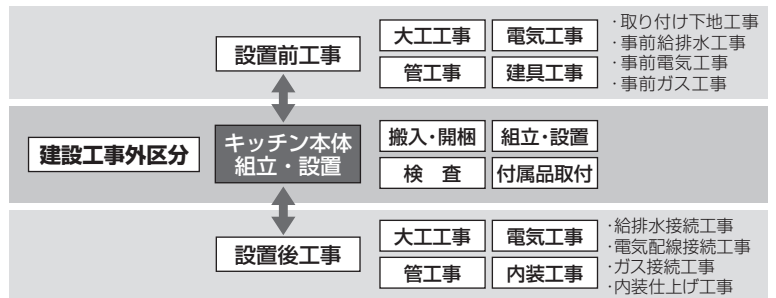
⚠ 警告

流通業者様(販売店様等)を通して本体の組立・設置を行う場合は、「建設工事部分」と「システムキッチン本体の組立・設置」を区別して行う



必ず実行

建設工事は、関連する法令・規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。



システムキッチン本体工事区分(※新築の場合を想定)

工程	作業名称(区分)	建設業区分			建設業外		作業内容
		大工事業	管工事業	電気事業	ガス設備	キッチン取付	
設置前工事	外壁の開口工事	○	○				レンジフードの換気扇用又はダクト用の建築壁への穴あけ工事
	建築壁の下地処理工事	○					ユニット等の取り付けのための壁下地処理工事
	排気ダクトの関連工事		○	○			建築物の事前ダクト配管等の工事
	各機器の電源・アース工事(レンジフード・調理機器・食洗機・照明等)			○			所定位置への電源ケーブル・アース・コンセント工事
	排水配管の立ち上げ工事		○				所定位置への排水管の立ち上げ工事
	給水・給湯配管の立ち上げ工事		○				所定位置への配管の立ち上げ工事
	ガス調理機器のガス配管				□		ガス機器用の事前ガス配管工事
キッチン本体組立・設置	キッチンパネルの取り付け					□	製品を加工して建築下地への取り付け
	製品間のシリコン充填					□	製品間のすき間を仕上げる処理作業
	レンジフードの取り付け					□	本体および化粧パネルを取り付ける作業
	ウォールユニットの取り付け					□	所定の建築仕上げ壁へ取り付ける作業
	フロアユニット・ワークトップの取り付け					□	ユニット・ワークトップの組み立て・調整して設置する作業
	キッチン排水部品の組み立て					□	シンクへの排水部品の取り付け
	水栓の組み立て・ワークトップの取り付け					□	水栓、浄水器同梱部材の組み立て(ワークトップへの取り付け)
ビルトイン機器の取り付け					□	ビルトイン機器のキッチン本体への組込作	
設置後工事	電気配線器具の取り付け			○			スイッチ、コンセント等の電気配線工事
	レンジフードとダクトの接続工事		○				建築ダクトとレンジフードの接続、検査
	電化機器への電源接続工事			○			電化機器への電源ケーブル、アースの接続工事
	ガス調理機器のガス管接続				□		ガス機器とガス配管の配管接続工事
	給水・給湯配管と水栓の接続		○				給水・給湯の一次側と水栓の接続、検査
建築側排水管への接続工事		○				建築排水管との接続、検査	

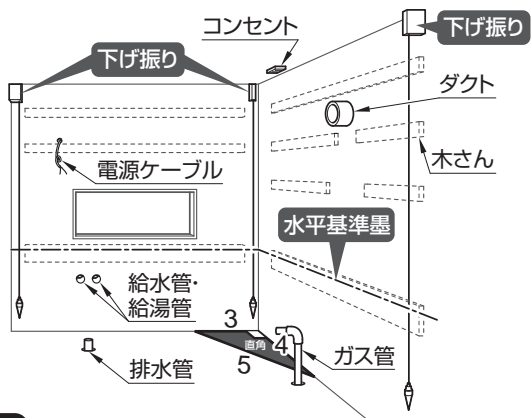
1. 取り付け前の作業

1 部材の確認

- 荷受けした商品の品番・数量(送り状参照)を確認する
- 開梱前: 包装材など外観に破損がないことを確認する
- 開梱後: 商品に傷・破損がないことを確認する

2 設置場所の確認

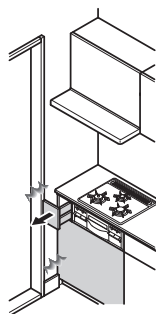
- 床・壁・天井の直角な交差と水平・垂直を確認する
※下げ振り・水準器・水盛管など使用
- 別紙施工図面通りに、下地・木さん・給排水管・コンセント・電源ケーブル・ガス管・ダクトなどの工事が完了していることを確認する
※修正が必要なものは、修正工事依頼をすること



重要

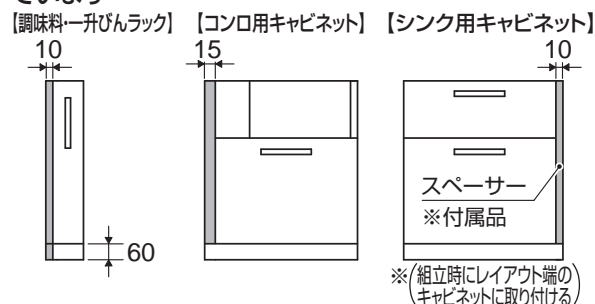
調理器具・レンジフード・レンジフード用ダクトは取り付け面の不燃指定や可燃物との離隔距離が火災予防条例で定められています。
※ 詳しくは所轄の消防署で確認してください。

- 設置場所の寸法(間口・高さ)および床の仕上がりを確認する
※ 壁-壁間に設置する場合は、キッチン寸法+5mm以上あること
※ 床は仕上がっていること
- ドア枠・窓枠・巾木が引き出しやはね上げ式扉等と干渉しないことを確認する
※ レイアウト図で商品を確認し、枠や巾木と干渉しないことを確認してください



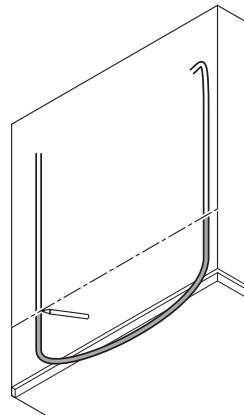
ポイント

横壁ありプラン用に、見切対応キャビネットを品揃えています

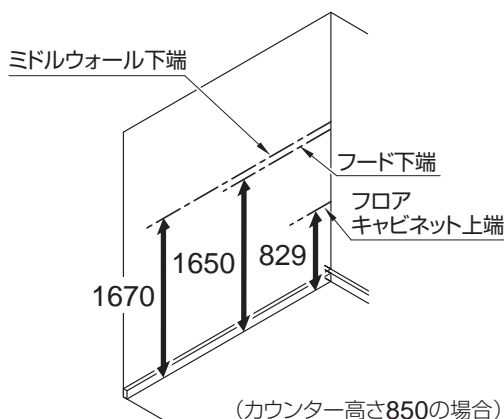


3 基準線の墨出し

- ① 水平基準線および設置高さ基準線の墨出し
(1) 水盛管・レーザー墨出し器で水平点を決め、水平墨を打つ

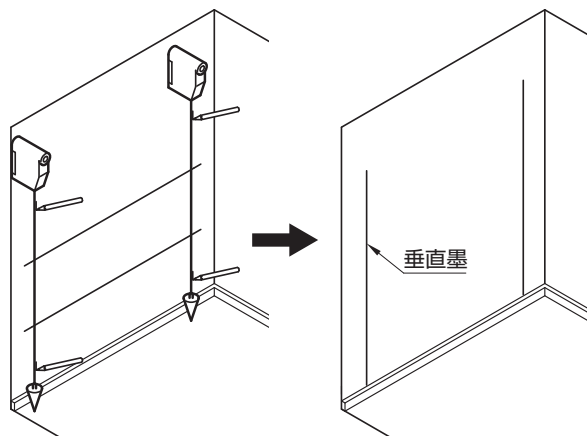


- ② 床の一番高い所を基準に設置高さ墨を打つ



- ② 垂直基準線の墨出し

下げ振り・レーザー墨出し器で壁面への垂直墨を打つ



重要

水平垂直を正確に出す
仕上がり不良や、引き出しやキャッチ機構等の作動不良の原因になります。

4 キッチンパネルの取り付け

レイアウト図面でキッチンパネルの取り付け面を確認し、下記例を参考に割り付けして取り付ける

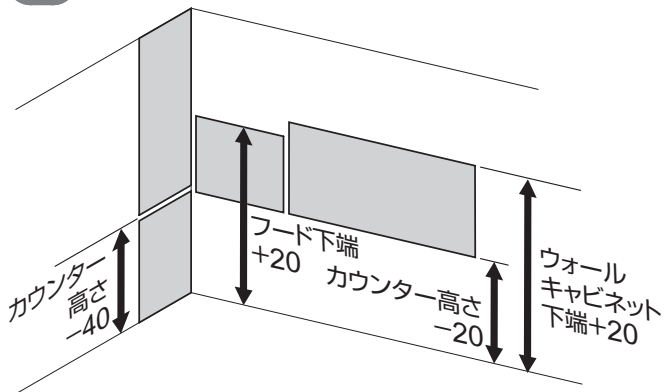
参照 キッチンパネル接着キット付属の説明書

ポイント

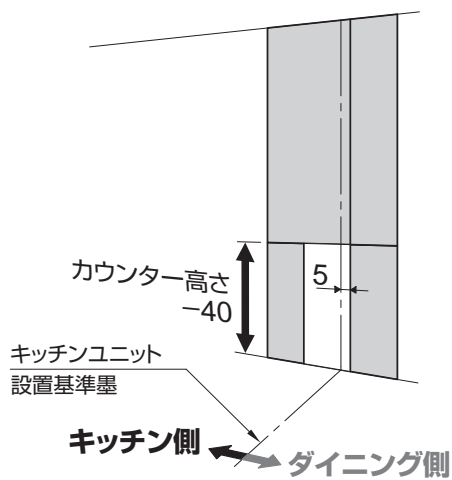
キッチンパネルは先貼りする
必ずキッチンユニットにのみ込ませるようにしてください。

【割り付け例】

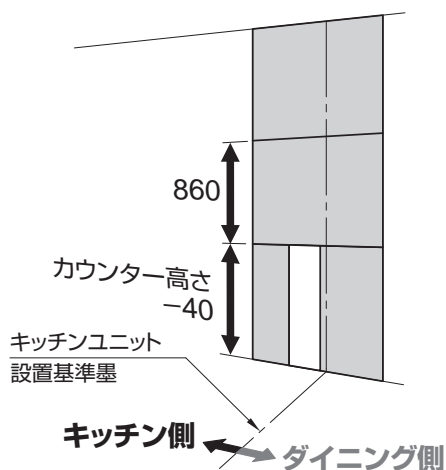
I型



フラット対面型片側壁付クリアパーティション



フラット対面型+サイドフード



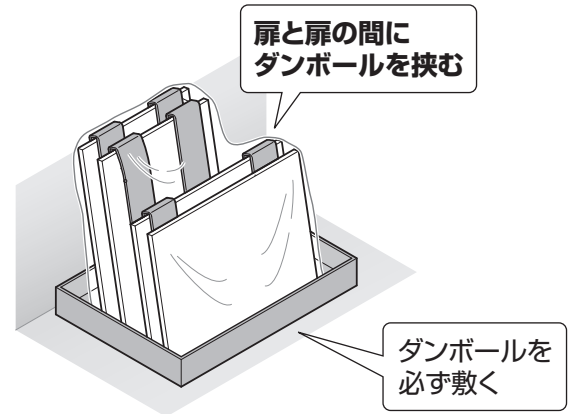
5 取り付け前に外す部材

1 扉・引き出しの取り外し

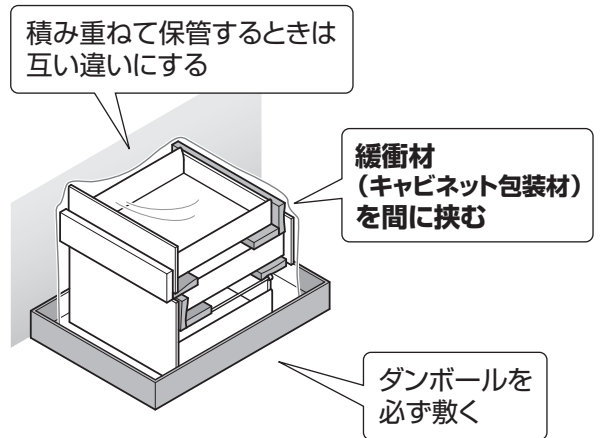
参照 P32～「着脱と調整」

【取り外した扉・引き出しの養生方法】

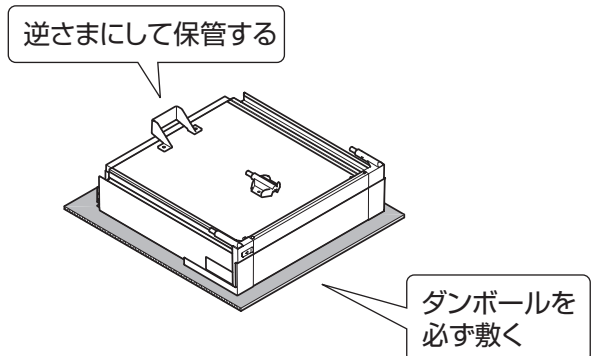
扉



引き出し



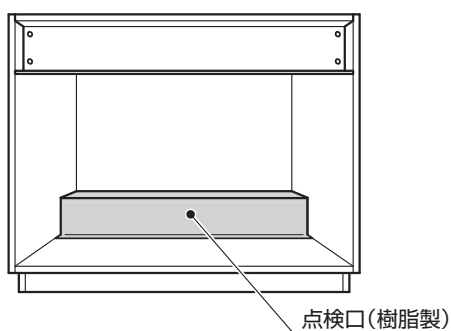
連動内引き出し



2 シンク用キャビネット点検口の取り外し

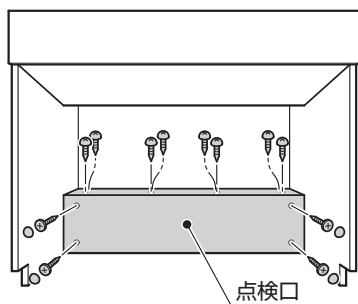
引き出しタイプ

そのまま上に上げて取り外す



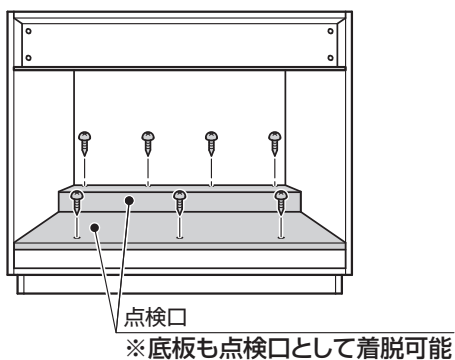
オープンタイプ

ねじを外し、点検口を取り外す



けこみ配管タイプ

ねじを外し、点検口を取り外す

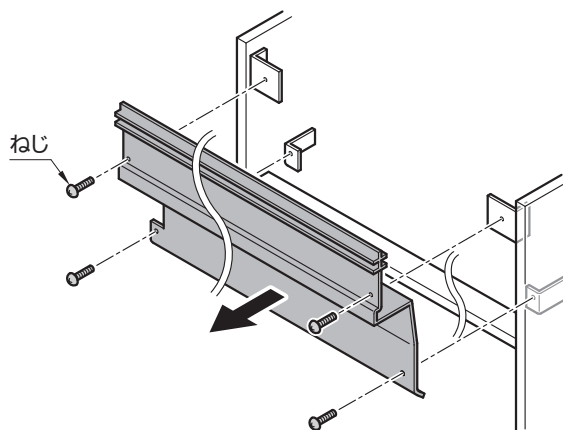


3 シンク用キャビネット幕板の取り外し

※通常は取り外し不要です。
(カウンターを取り付ける際に必要に応じて実施してください。)

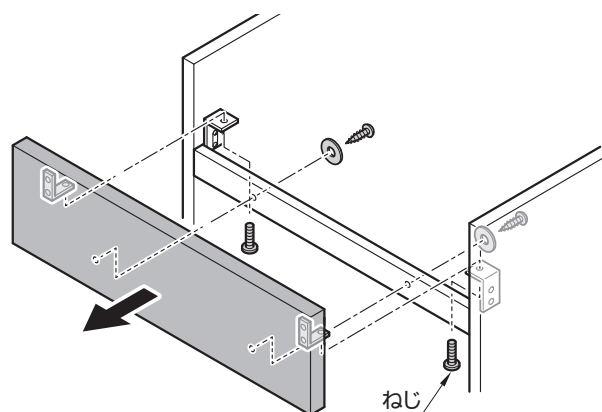
パッキンポケットタイプ

ねじを外し、幕板を取り外す



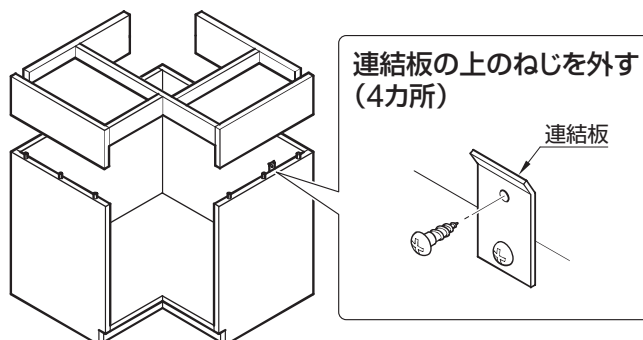
I型スリムタイプ

ねじを外し、幕板を取り外す



4 L型コーナー用キャビネットの上下分割

※搬入口がせまい場合に、キャビネットを上下分割して搬入が可能です。
(650mm×800mmのL型コーナーキャビネットは上下分割できません。)

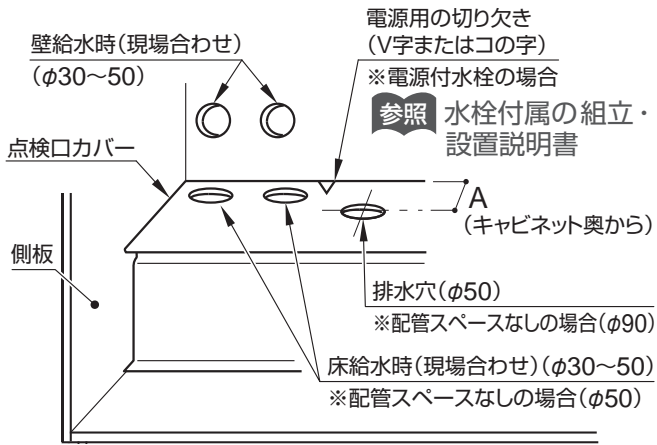


※組立は逆の手順で取り付ける。

6 配管用加工

1 取り付け前の作業

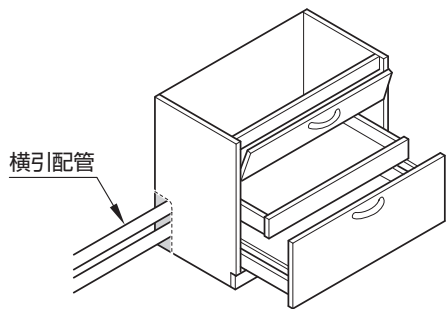
1 シンク用キャビネットの給水・給湯、排水用穴加工



	シンク形状	A寸法
スクエアすべり台シンク		50mm
スペースアップシンク スマイルクリーンシンク		65mm (I型スリムは50mm)

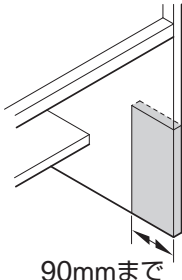
2 側板の切り欠き加工 (配管スペースありキャビネットのみ)

横引配管の場合は、配管が通るキャビネットの側板を切り欠く



ポイント

フラット対面型の場合、シンクキャビネットを90mm以上切り欠かない
床固定金具が取り付けられなくなります。

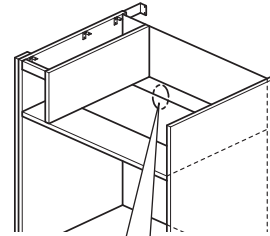


3 コンロ用キャビネットの加工

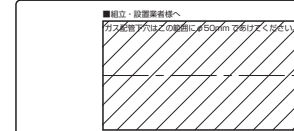
〈共通仕様〉
着脱式天板、裏板点検口付

1. ガス調理機器の場合

- (1) 裏板へのガス配管用穴加工 (位置は施工図参照)
※ TOTO 製品以外の場合は、機器に付属の説明書を参照してください。



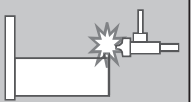
配管取出し用穴φ50(裏板に穴加工)
必ずシール斜線範囲内のこと



注意

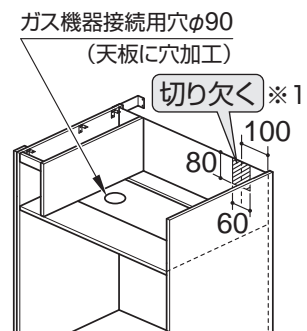


配管取り出し位置を守る
ガス配管の位置が下がると
上段の収納物と接触して
ガス漏れのおそれがあります。

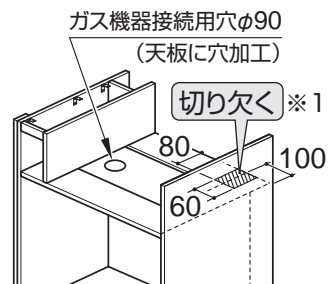


- (2) 天板へのガス機器接続用穴加工
(位置は機器に合わせる)

● D650用

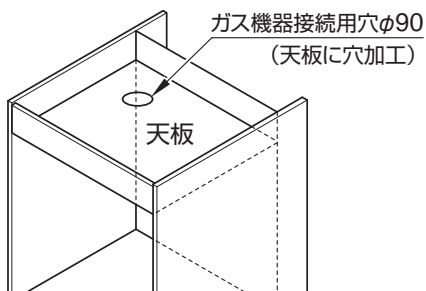


● I型スリム用



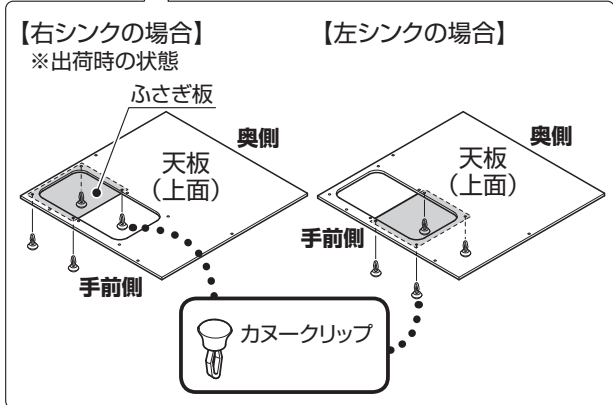
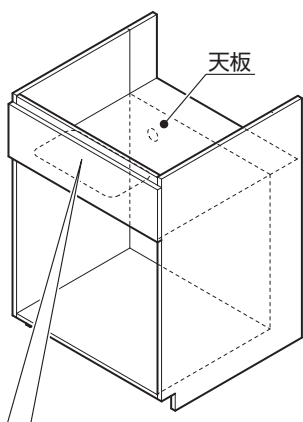
※1 電源コード用切り欠き
(電源コード付ガス調理機器の場合のみ必要です)

●D650 グリルレス用



●I型スリム グリルレス用

※出荷時はふさぎ板の位置が右シンク用になっています。左シンクの場合は付け替えをしてください。

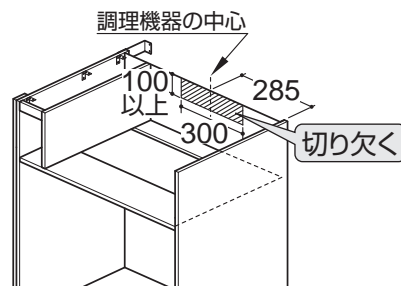


※ガス調理機器の場合は、付属のシーリングプレートをガス配管加工穴部へ取り付けます。

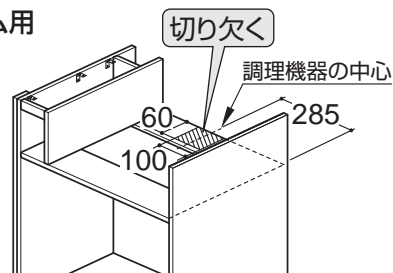
2.IH調理機器の場合

(1)電源コード用切り欠き加工

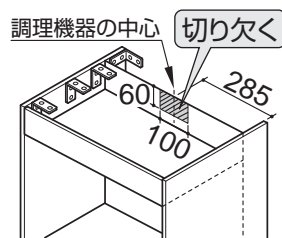
●D650用



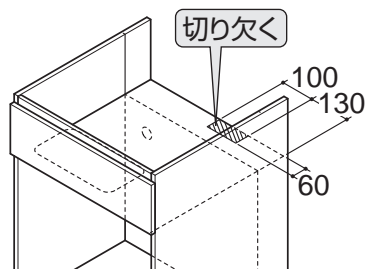
●I型スリム用



●D650 グリルレス用

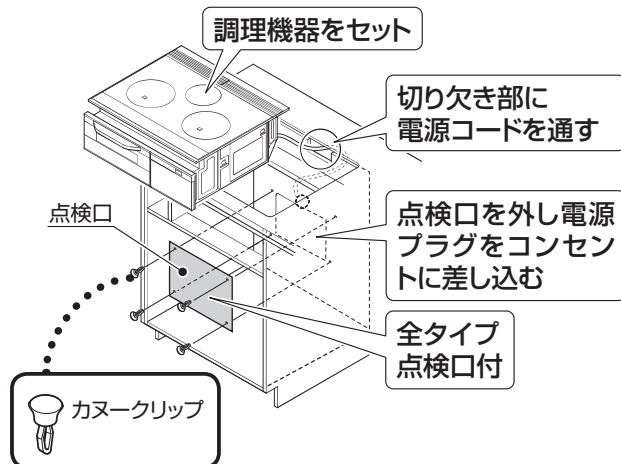


●I型スリム グリルレス用



機器設置例

※コンセントは配管スペース内での設置です。事前に切り欠きをしていないと機器設置時に電源コードが通せません。



2. ユニットの取り付け【基本取り付け要領】

レイアウト図面と見積書の部材No.を照合し、見積書品番と製品ラベル品番を確認のうえ取り付ける

1 ウォールキャビネットの取り付け

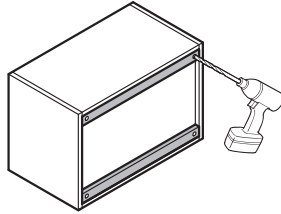
〈事前準備〉

キャビネットの上下方向を確認する

■ 下穴あけ・加工

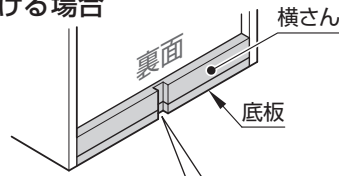
背面から後横さんの下穴にあわせて裏板に穴をあける

※キャビネット裏板には壁固定用穴はあいていません。
(一部穴あけ出荷しているものは除く)



● スリムライトを取り付ける場合

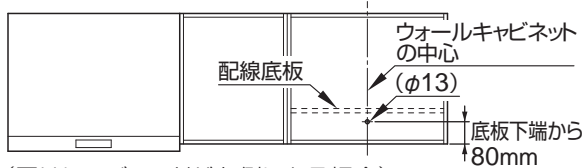
電源線取り出し用の溝加工をする



電源線用溝
(幅10mm、深さ7mm程度)

● 配線底板を取り付ける場合

背面に電源線引き込み用の穴をあける

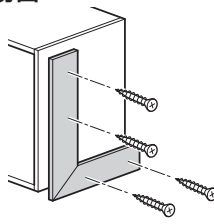


(図はレンジフードが左側にある場合)

● エンドスペーサーを取り付ける場合

事前に壁側設置キャビネットの側面に取り付ける

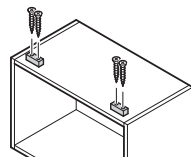
参照 エンドスペーサー付属の組立・設置説明書



● 天井フィラーを取り付ける場合

天井上面に受け木を取り付ける

参照 P28 天井フィラーの取り付け

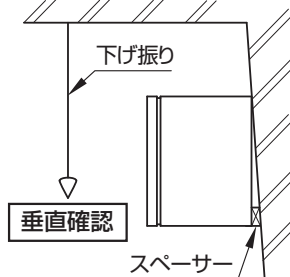


■ 水平・垂直確認

ウォールキャビネットを取り付ける壁面に凹凸がある場合は、下げ振りなどで垂直確認を行い、スペーサー(現場調達)などで調整する

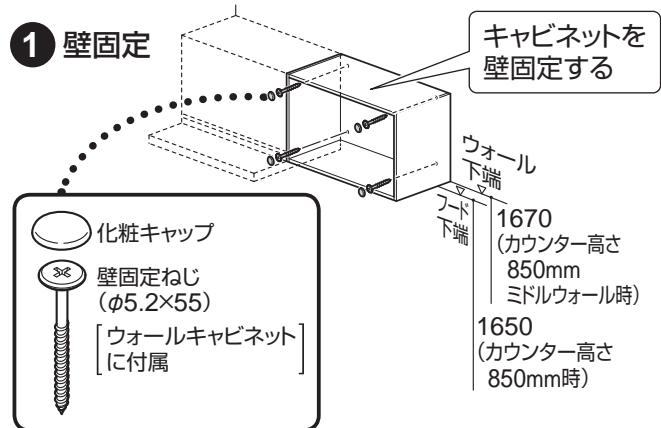
重要

必ず水平垂直になるように、取り付ける
キャッチ機構の誤作動の原因になります。



1 壁固定

キャビネットを壁固定する



重要

キャビネットには上下の方向性があるため必ず確認して取り付ける

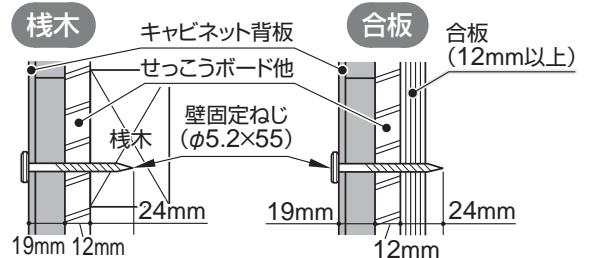
警告



必ず実行

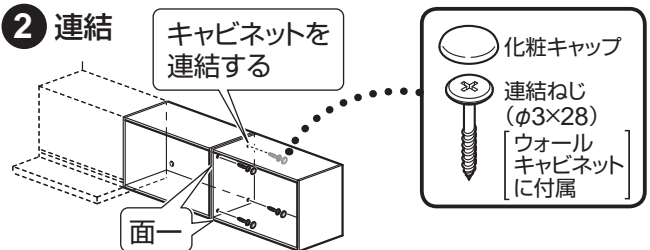
- ねじ止め部は壁とキャビネット裏面にすき間がないように取り付ける
- 製品付属の壁固定ねじでゆるみや浮き、締め過ぎによるねじの空転等のないように確実に取り付ける
使用中にウォールキャビネットが落下して、けがをすることがあります。

【壁固定ねじ部断面図】



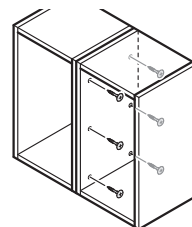
2 連結

キャビネットを連結する



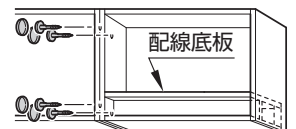
※連結したキャビネットを壁固定する

● 高さのあるキャビネットの場合 中段も連結する



● 照明用配線底板を取り付ける場合 ねじが干渉する可能性があるため 配線底板が取り付けられない側から連結する

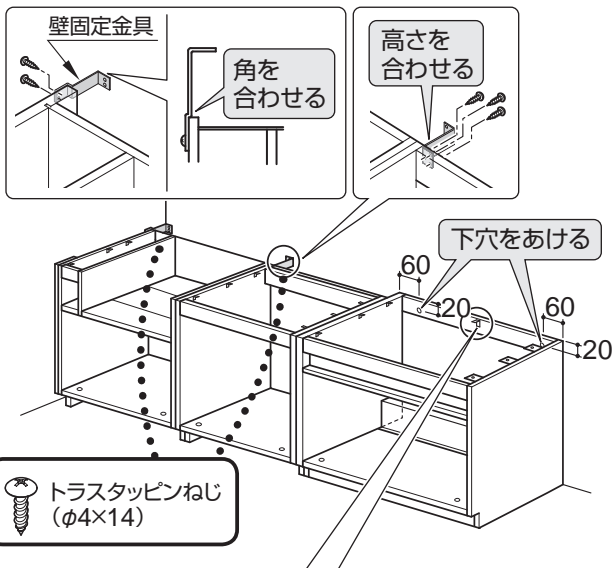
参照 配線底板付属の組立・設置説明書



2 フロアキャビネットの取り付け

〈事前準備〉

固定金具の取り付け・加工

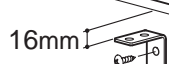


【ステンレススクエアすべり台シンクの場合】

シンクの中心となる位置にカウンター固定用アングルを取り付ける
[シンクキャビネットに付属]

〈裏合板t15mm以上タイプ〉

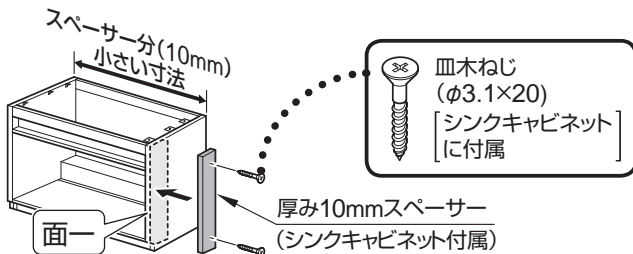
〈裏合板t9mmタイプ〉



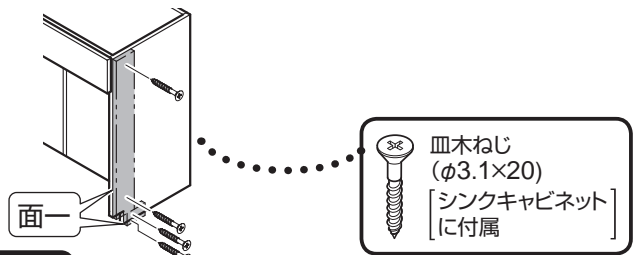
※裏合板のタイプはP12・13③カウンター固定参照

●シンク側横に壁がある場合

スペーサー付きシンクキャビネットを使用し、付属のスペーサーを壁側に取り付ける



●オープンタイプのシンクキャビネットの場合



重要

スペーサーは一番端(壁側設置)キャビネットの側面に取り付ける

※レイアウト図面を確認してください。

(例)シンクキャビネットと壁の間に他のキャビネットがある場合

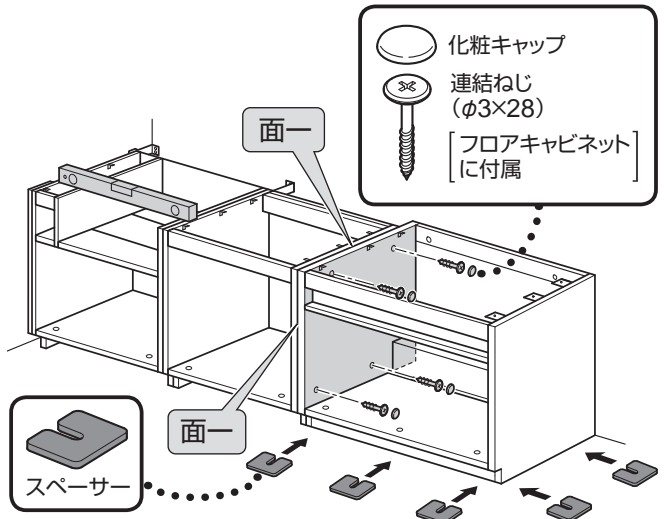


1 連結

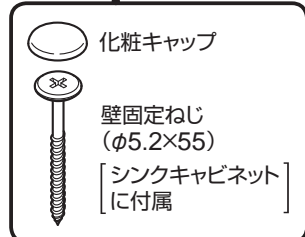
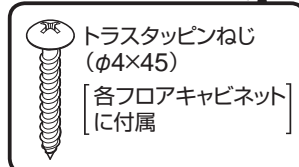
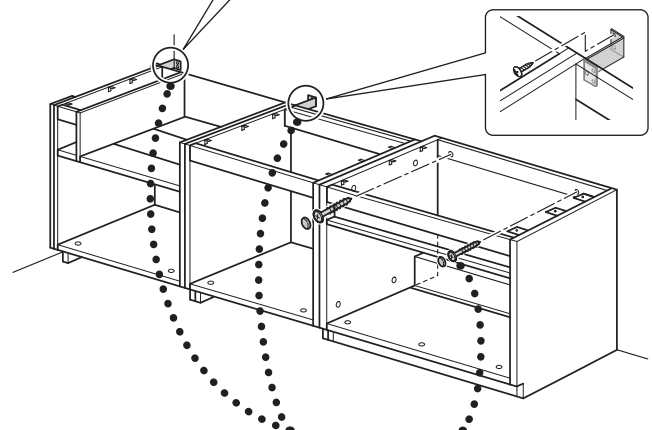
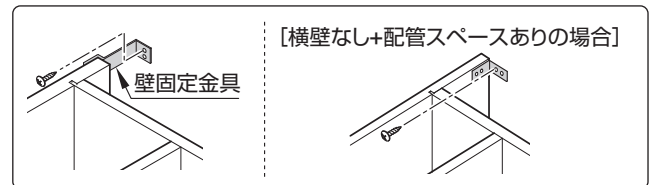
2 キャビネット上面の水平確認

重要

キャビネット上面が水平になるように不陸調整用スペーサーを入れて調整してください。



3 壁固定



フロアキャビネットの取り付け(つづき)

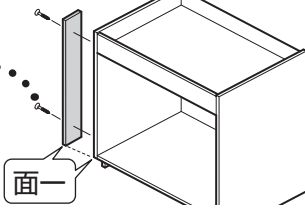
●グリルレスコンロ用キャビネットの場合

〈スペーサー付きの場合〉

付属のスペーサーを壁側に取り付ける



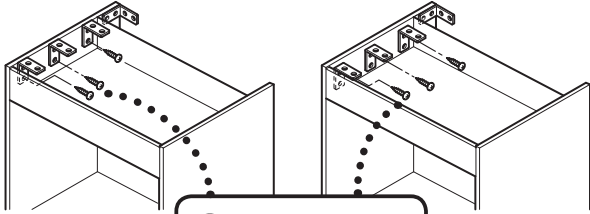
皿木タッピンねじ
(φ3.5×25)



〈スペーサー付き・なし共通〉

一番端に設置される場合は端側の側板にカウンター固定金具を取り付ける

〈裏合板t15mm以上タイプ〉 金具下部の穴を使用する
 〈裏合板t9mmタイプ〉 金具上部の穴を使用する

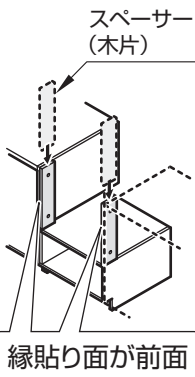


トラスタッピンねじ
(φ4×14)

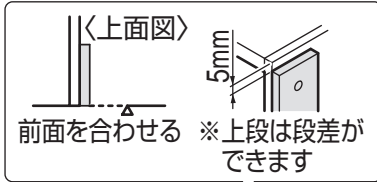
※裏合板のタイプは③カウンター固定参照

●食洗機用フロアキャビネットの場合

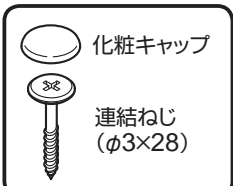
- (1) スペーサーをキャビネットに置く
 (2) 両隣のキャビネットにねじ固定する



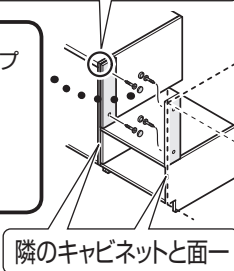
スペーサー
(木片)



〈上面図〉
 前面を合わせる ※上段は段差ができます



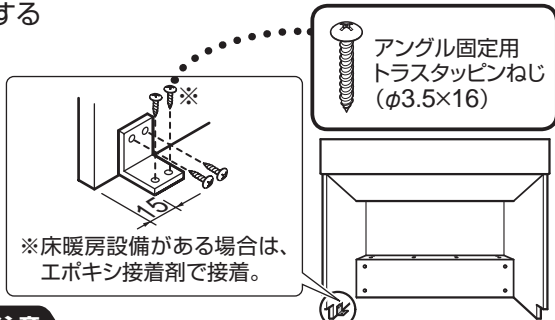
化粧キャップ
 連結ねじ
(φ3×28)



隣のキャビネットと面一

●オープンタイプシンクキャビネットの場合

側面オープンの場合は、付属のLアングルで床面に固定する



アングル固定用
 トラスタッピンねじ
(φ3.5×16)

※床暖房設備がある場合は、エポキシ接着剤で接着。

⚠注意



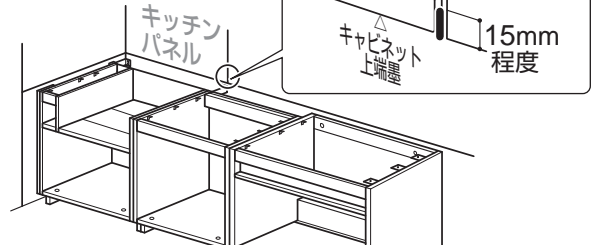
床暖房設備がある場合は、床にねじ固定しない
 設備が破損するおそれがあります。

3 カウンターの取り付け

① キッチンパネル継ぎ目へのシリコンシール剤の塗布

※下記発泡パッキングが当たる部分のみ
(防水のため)

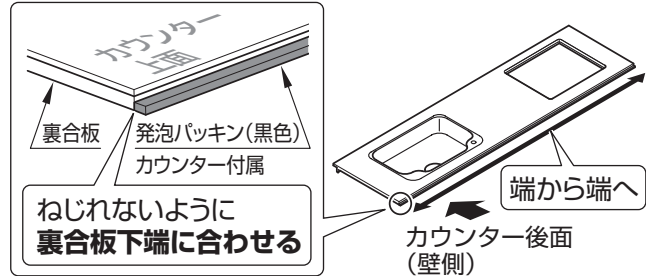
キッチンパネルの継ぎ目をシリコンシール剤で埋める



15mm
 程度

② 発泡パッキングの取り付け

両面テープをはがし、カウンター後面の裏合板に下端合わせて端から端(カウンター間口分)へ貼り付ける



ねじれないように
 裏合板下端に合わせる

端から端へ
 カウンター後面
 (壁側)

重要

発泡パッキングは必ず取り付ける

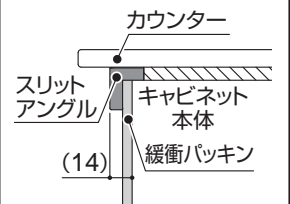
万が一のシリコン切れの場合にカウンターからの水がしみ込み、躯体が被水することを防ぐためです。

③ カウンター固定

裏合板t15mm以上タイプ

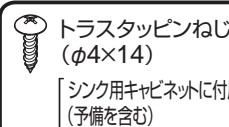
対象品番	カウンター種類
KECS~	ステンレス
KECB~	ライトストーン

【断面図】

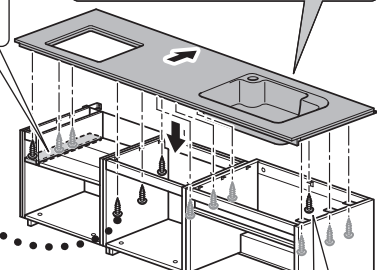


発泡パッキングを壁に押し付け固定する

小引き出し部の天板(小)をはずす



トラスタッピンねじ
(φ4×14)
 [シンク用キャビネットに付属
 (予備を含む)]



ステンレススクエアすべり台シンクの場合のみ

※シンクキャビネット部は隣接するキャビネットがある側はねじ固定不要です。(図は端3カ所のみ固定)

重要

指定以外のねじは使用しない

固定が弱かったり、カウンターが割れたりするおそれがあります。

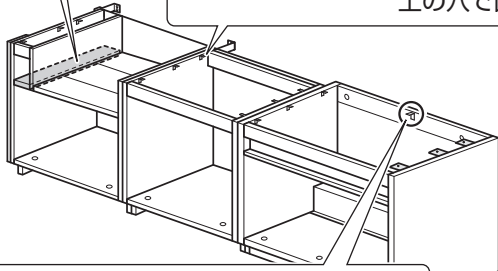
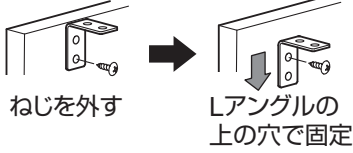
裏合板t9mmタイプ

参照 カウンター固定
セット付属の
組立・設置説明書

対象品番	カウンター種類
KECD~	コーリアン
KECC~	クリスタル

小引き出し部の
天板(小)をはずす

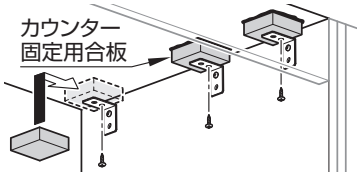
①カウンター固定用アングルを
下げる



ステンレススクエアすべり台シンクの場合

②カウンターをのせ位置決め後、接着剤を塗布した
合板(付属品)をカウンター裏面に貼り付ける

③接着剤完全硬化後にカウンターを壁に押し付けな
がら固定する

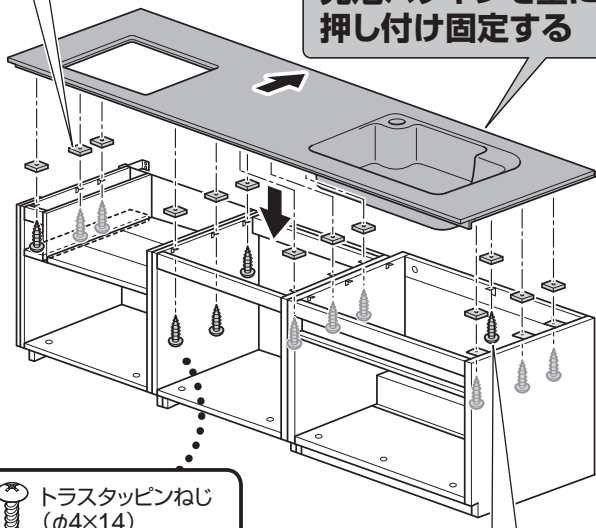


重要

必ず15mm合板を貼ること

9mm合板の場合、ねじが突き抜けカウンターが割れるおそれ
があります。

発泡パッキンを壁に
押し付け固定する



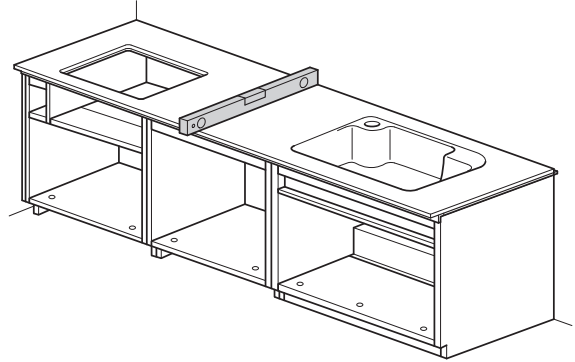
トラスタッピンねじ
(φ4×14)
[シンク用キャビネットに付属
(予備を含む)]

ステンレススクエア
すべり台シンクの場合のみ

※シンクキャビネット部は隣接するキャビネットがある側は
ねじ固定不要です。(図は端3カ所のみ固定)

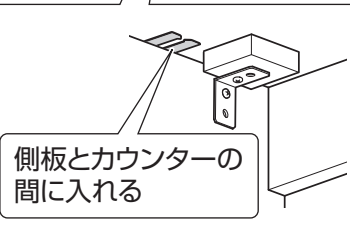
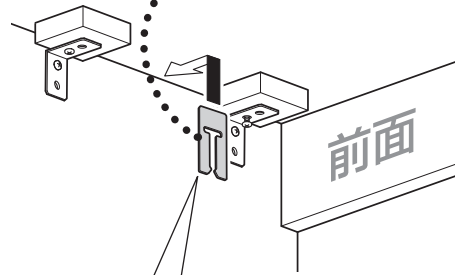
4 カウンター上面の水平確認と調整

カウンター面の水平度は傾斜2mm未満であることを
確認する

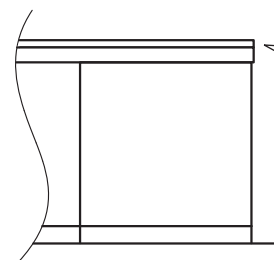


●傾斜2mm以上の場合
固定ねじをゆるめてキャビネット側板とカウンター
の間にスペーサーを入れて調整する

例：前面(手前側)が低い場合



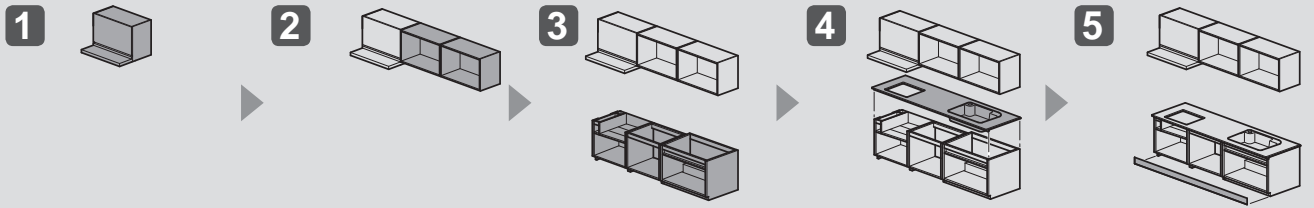
【カウンターとキャビネットの納まり】



カウンターとキャビ
ネットの側面が面一、
またはカウンターが
出っ張るように設置
する

※エンドパネルが付く場合は、カウンターの出っ張りは
3mm以下におさえてください。
固定の強度に影響するおそれがあります。

I型



1 フードの取り付け

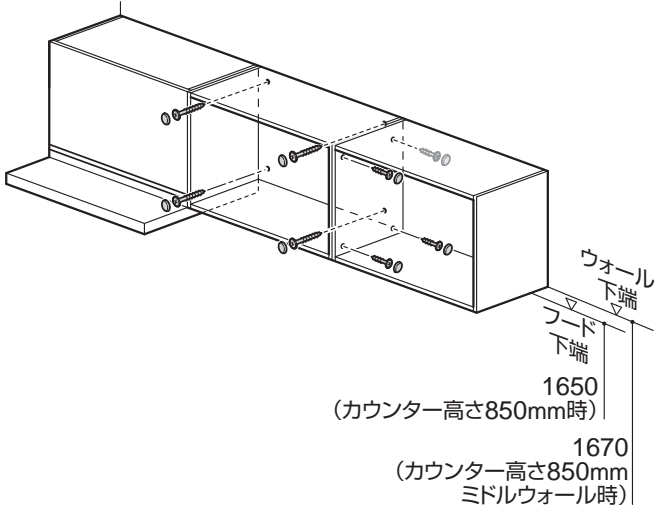
フード下端墨に合わせて取り付ける

参照 フード付属の組立・設置説明書

2 ウォールキャビネットの取り付け

1 壁固定

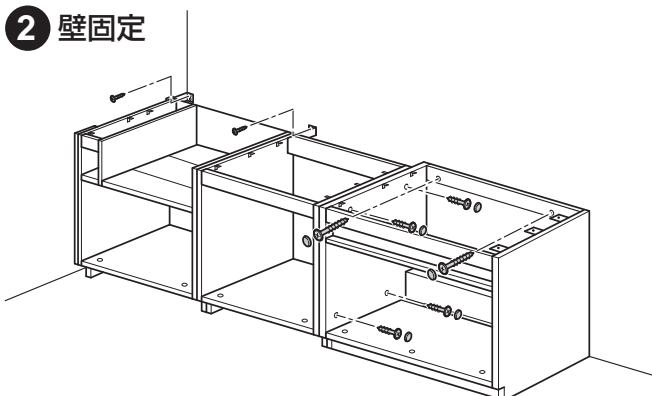
2 連結



3 フロアキャビネットの取り付け

1 連結

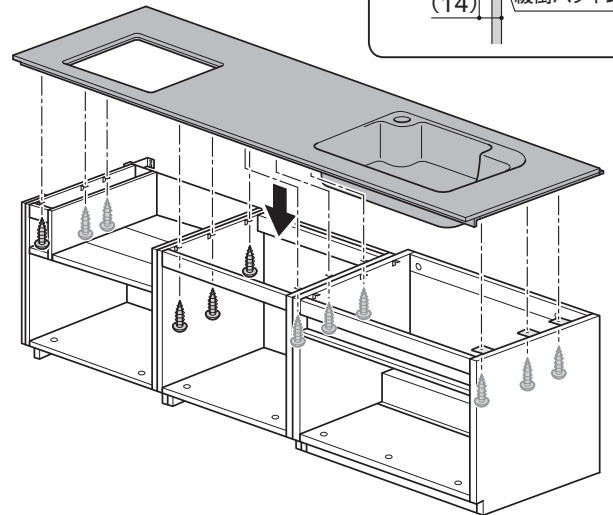
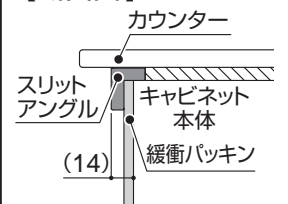
2 壁固定



4 カウンターの取り付け

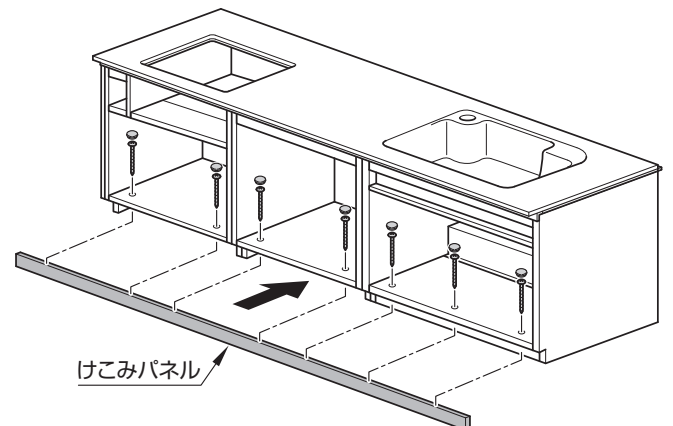
参照 P12・13 カウンターの取り付け

【断面図】

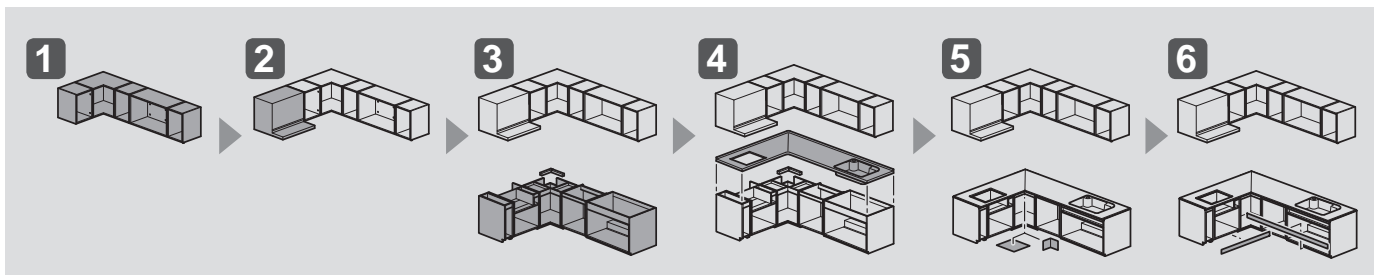


5 けこみパネルの取り付け

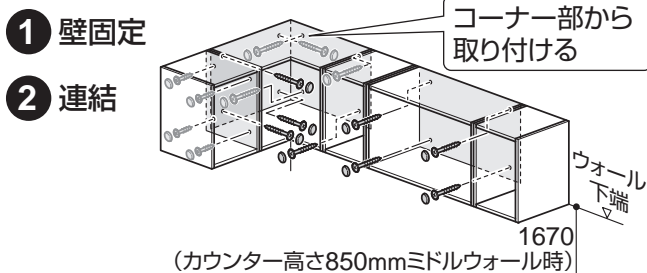
参照 P27 けこみパネル



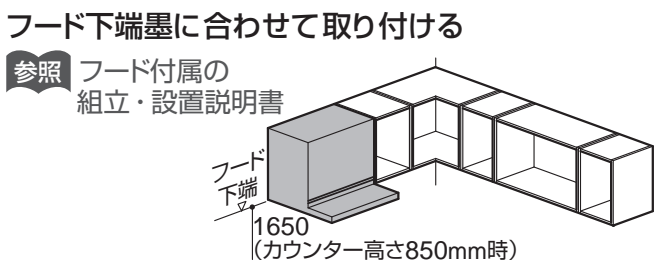
L型



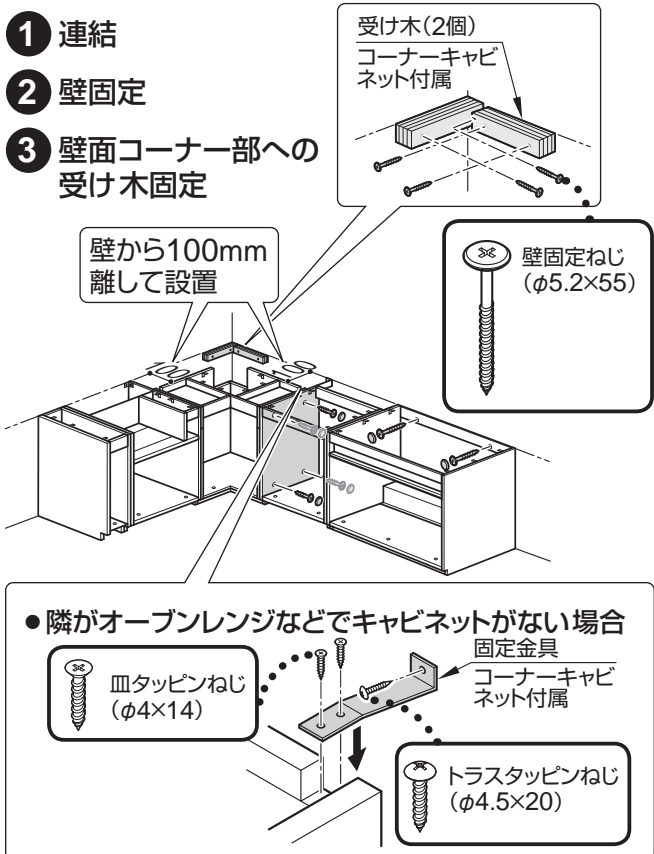
1 ウォールキャビネットの取り付け



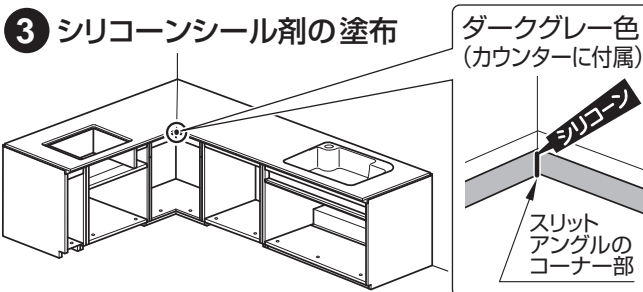
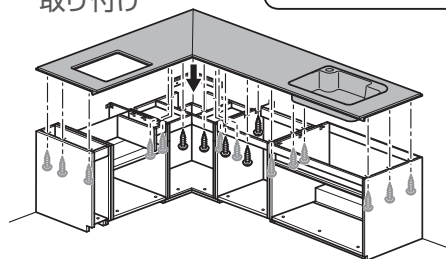
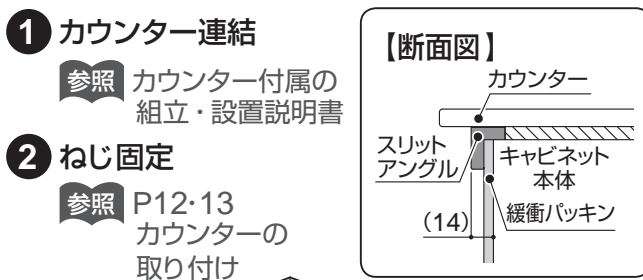
2 フードの取り付け



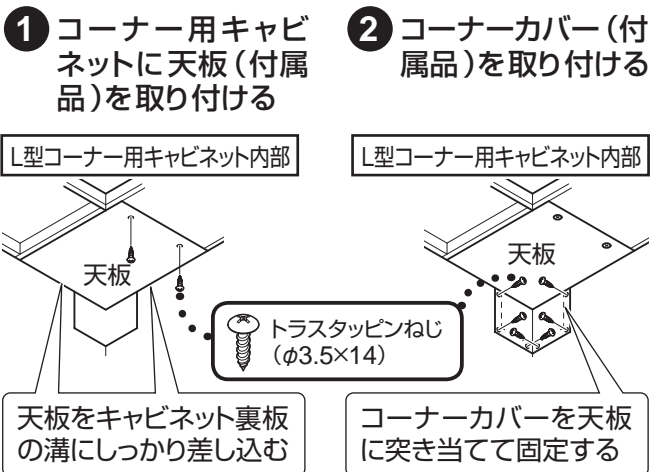
3 フロアキャビネットの取り付け



4 カウンターの取り付け



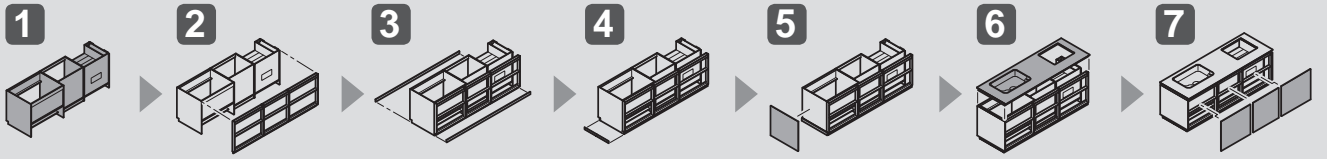
5 L型コーナー用キャビネットの付属品取り付け



6 けこみパネルの取り付け

参照 P27 けこみパネル

フラット対面型 D750タイプ



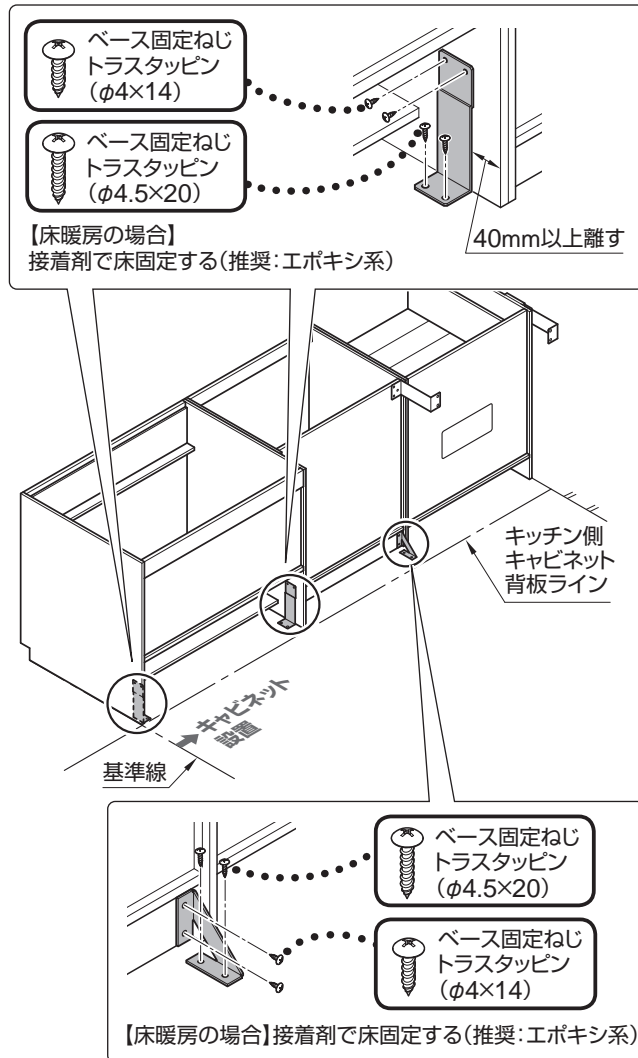
【参照】スクリーンまたはガラスフレームそれぞれに付属の組立・設置説明書

1 キッチン側キャビネットの固定

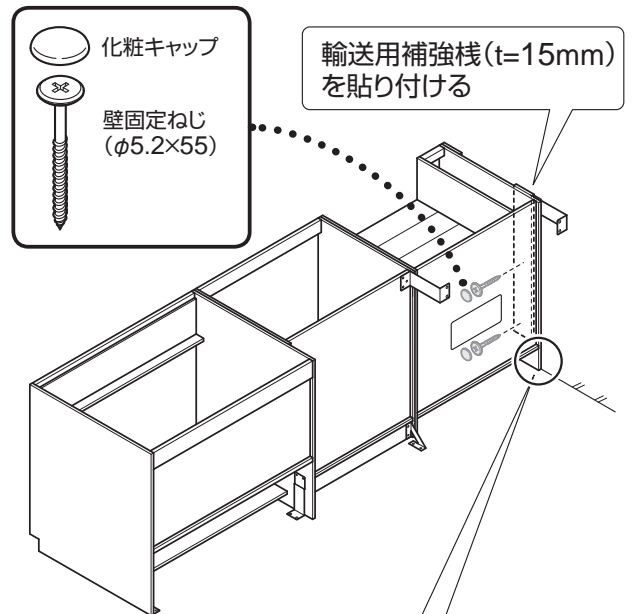
【参照】P11 フロアキャビネットの取り付け

床固定

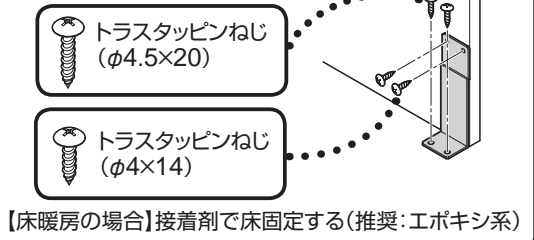
※床固定部材は対面施工キットに付属



●片側壁付プランの場合



●横壁なしの場合



⚠注意

❗ **確実にキャビネットを床固定する**
転倒してけがをしたり、財産損害のおそれがあります。
必ず実行

重要

片壁付の場合は、オープン側の基準線に合わせてオープン側キャビネットから設置する
後のカウンターのチリ合わせに影響がでます。

2 リビング側キャビネットの取り付け

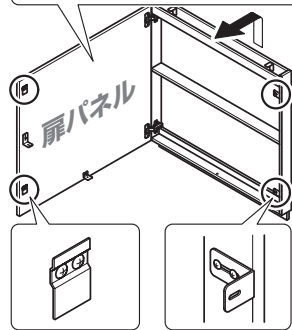
1 フラット対面用キャビネット扉パネルの取り外し

参照 P32 着脱と調整



① 底板下部のローレットねじを取り外す
※後で取り付けます

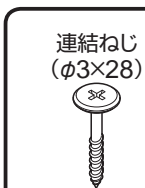
② 扉パネル右側を少し上方へ持ち上げ、金具の掛かりを外し扉を開いて取り外す
(左側に丁番があります)



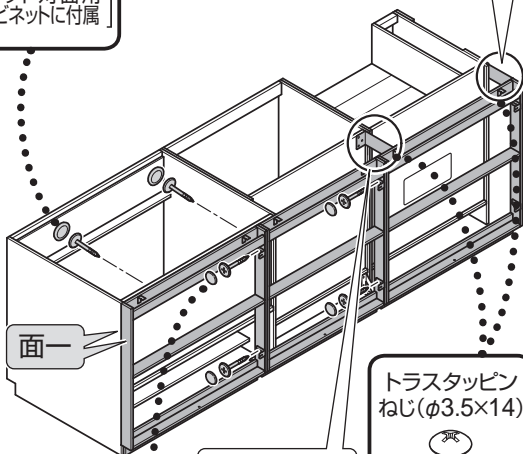
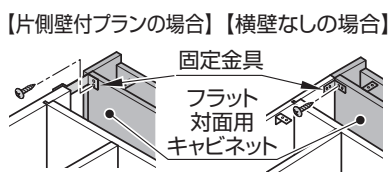
2 フラット対面用キャビネット(対面支持部材)の取り付け

重要

背面固定は、ねじの長さに注意する
ねじがとび出すおそれがあります。



[フラット対面用キャビネットに付属]



トラスタッピンねじ(φ3.5×14)

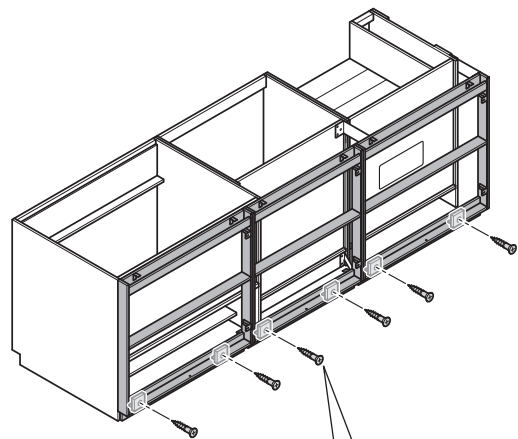


[フラット対面用キャビネットに付属]

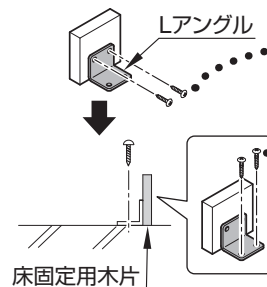


[フラット対面用キャビネットに付属]

3 床固定

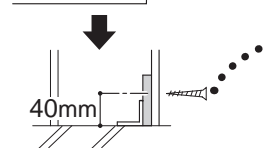


【床固定木片の取り付け】※フラット対面用キャビネットに付属



トラスタッピンねじ(φ4×14)

トラスタッピンねじ(φ4.5×20)

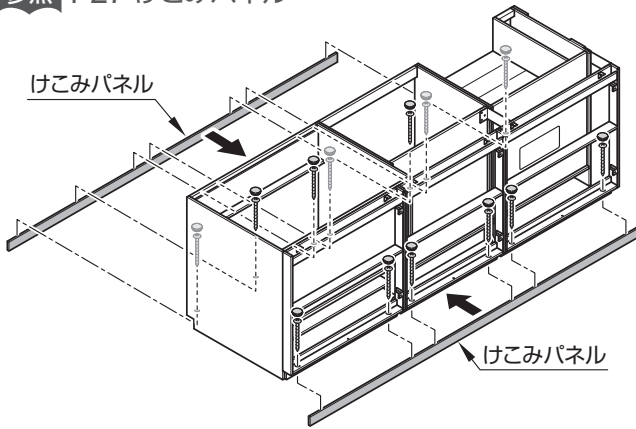


皿木ねじ(φ3.5×38)

【床暖房の場合】接着剤で床固定する(推奨:エポキシ系)

3 けこみパネルの取り付け

参照 P27 けこみパネル



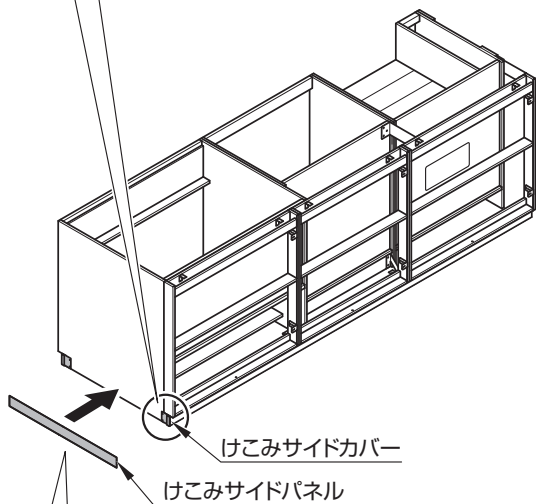
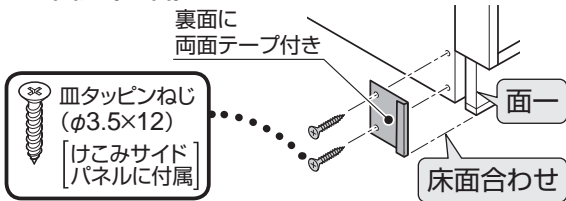
重要

カット面には必ず付属の縁貼り材をゴム系接着剤で貼る

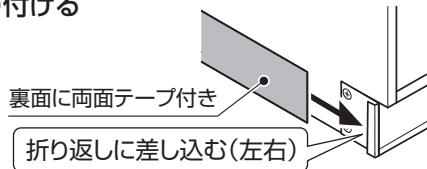
4 けこみサイドパネルの取り付け

※サイドパネルに付属
※両面テープ貼り付け面は汚れを除去する

① けこみサイドカバーの両面テープで位置決めし、ねじ固定(左右)

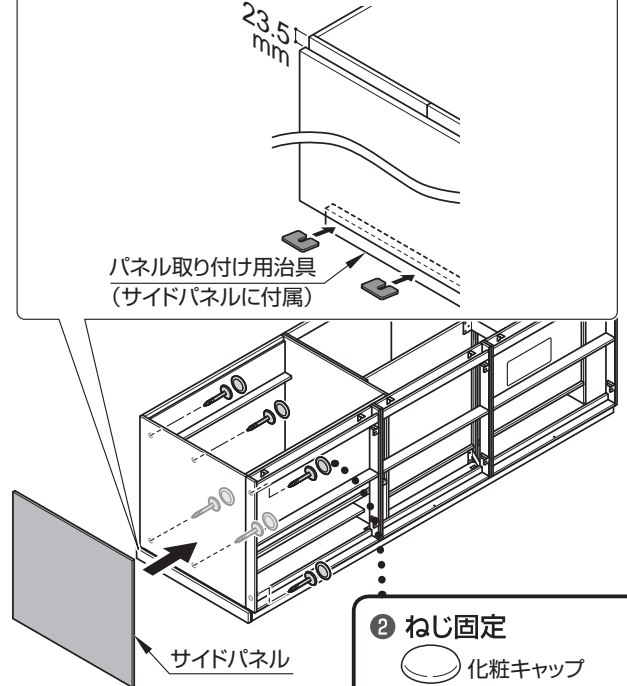


② けこみサイドパネルを底面合わせで両面テープで貼り付ける



5 サイドパネルの取り付け

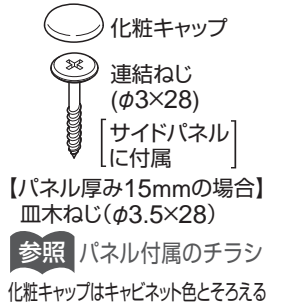
① 取り付け用治具を床に置き、パネルを浮かせる



重要

- パネル上端は、キャビネット上端から23.5mmで揃える
高さが揃わない場合は、治具とパネルの間にスペーサーをはさみ調整する。
- パネルの方向に注意する
高さ・幅寸法が僅差のため、付け間違いに注意が必要です。

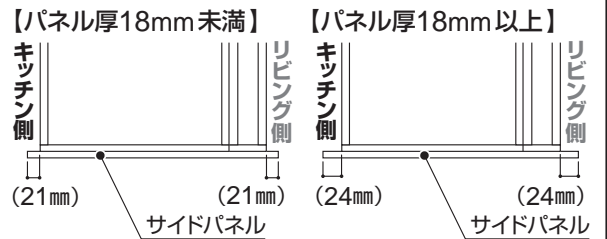
② ねじ固定



【サイドパネルの取り付け位置】

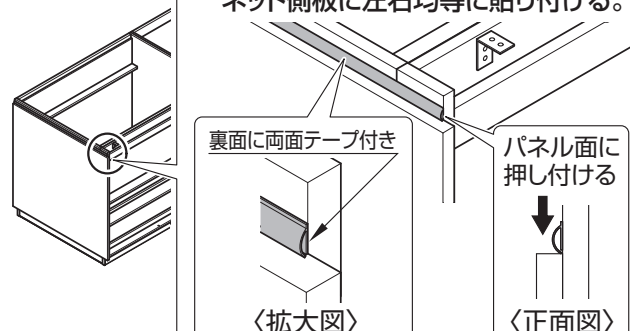
パネルはキッチン側とリビング側へ均等に配置してください

上から見た参考図



※ () 寸法は参考値

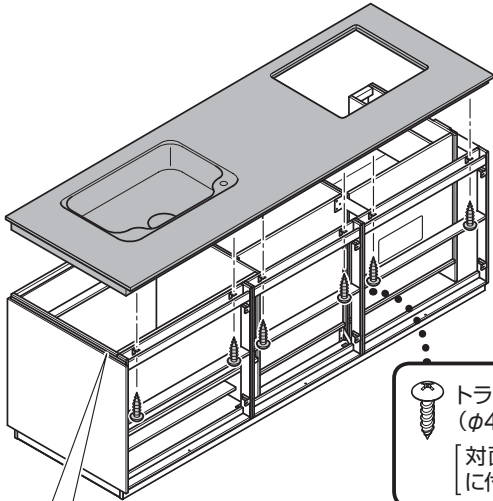
③ パッキンの取り付け(サイドパネルに付属)
パッキンの開口部を下に向け、キャビネット側板に左右均等に貼り付ける。



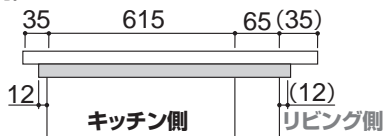
パッキンはキャビネット色とそろえる

6 カウンターの取り付け

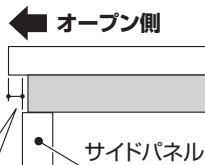
参照 P12・13 カウンターの取り付け



〈奥行き方向〉



〈間口方向〉

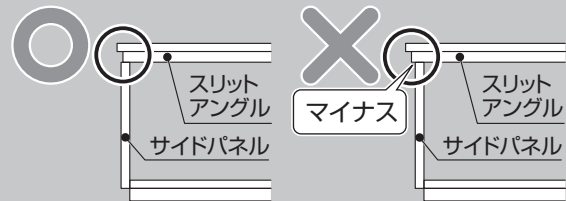


サイドパネルとカウンター端の寸法はパネルの厚みにより4~8mm

※アイランドタイプの場合は左右均等に設置してください。

重要

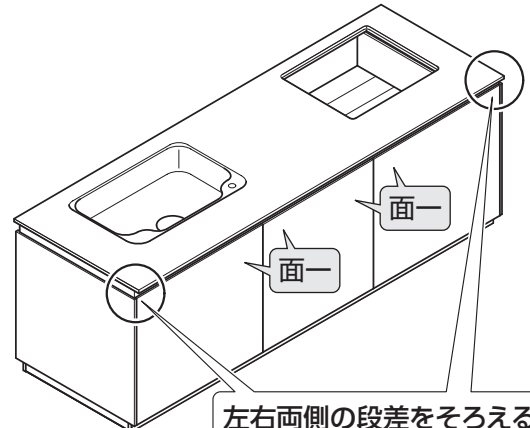
スリットアングルとサイドパネルが面一あるいはパネルがマイナスにならないよう設置する



7 扉パネルの取り付けと調整

重要

- ・左右両側の段差をそろえる
- ・扉パネルがサイドパネルより飛び出さないこと



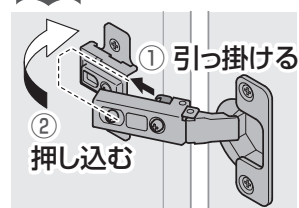
左右両側の段差をそろえる



※図はアイランドタイプ

1 扉パネルを取り付ける

参照 P32 着脱と調整



3 奥行き調整

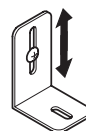
側板のL型アングルをゆるめて調整する



- ※手前に出す場合は、ねじを付けなおしてください
- ※丁番側も調整する

2 上下調整

裏面のL型アングルをゆるめて調整する



4 最初に取り外したローレットねじを取り付ける

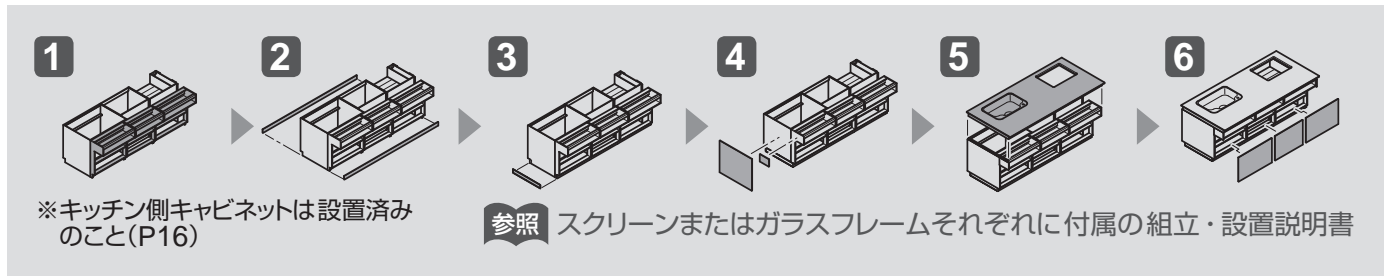
扉パネル
〈下から見た図〉

2

ユニットの取り付け

【フラット対面型 D750タイプ】

フラット対面型 D970 1段引き出しタイプ



1 リビング側キャビネットの取り付け

1 フラット対面用キャビネット扉パネルの取り外し

参照 P17 扉パネルの取り外し

2 スペースの取り付け

3 フラット対面用キャビネットの連結

4 フラット対面用キャビネットの取り付け

重要

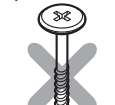
背面固定は、ねじの長さに注意する
ねじがとび出すおそれがあります。

連結ねじ
(φ3×28)

壁固定ねじ
(φ5.2×55)



【フラット対面用
キャビネットに付属】



トラスタッピン
ねじ(φ3.5×14)

トラスタッピン
ねじ(φ4×45)



【フラット対面用
キャビネットに付属】



3 連結

化粧キャップ

連結ねじ
(φ3×28)



【フラット対面用
キャビネットに付属】



【フラット対面用
キャビネットに付属】



【フラット対面用
キャビネットに付属】



【フラット対面用
キャビネットに付属】



【フラット対面用
キャビネットに付属】



【フラット対面用
キャビネットに付属】



【フラット対面用
キャビネットに付属】



【片側壁付プランの場合】

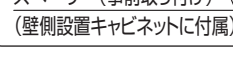
2 スペースの
取り付け

皿タッピンねじ
(φ4×25)

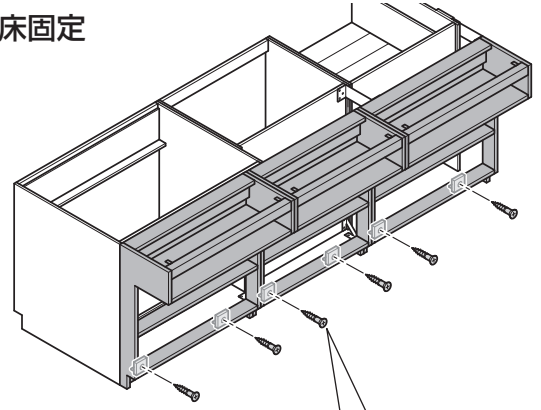
【壁側に設置する
キャビネットに付属】



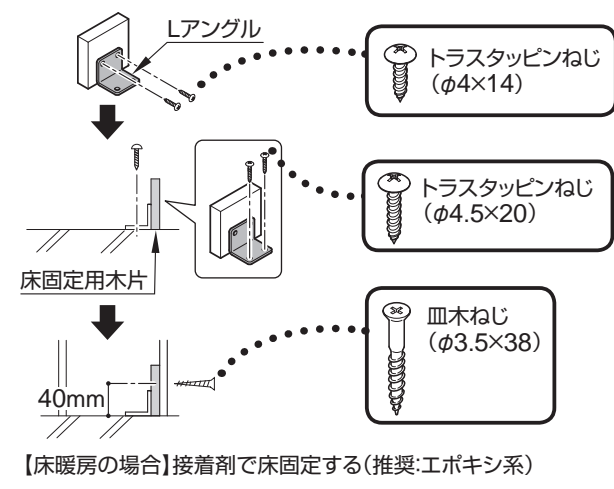
スペーサー(事前取り付け)
(壁側設置キャビネットに付属)



5 床固定

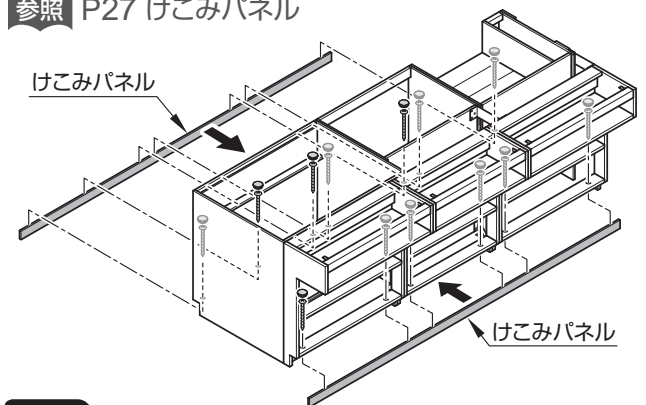


【床固定木片の取り付け】※フラット対面用キャビネットに付属



2 けこみパネルの取り付け

参照 P27 けこみパネル



重要

カット面には必ず付属の縁貼り材をゴム系接着剤で貼る

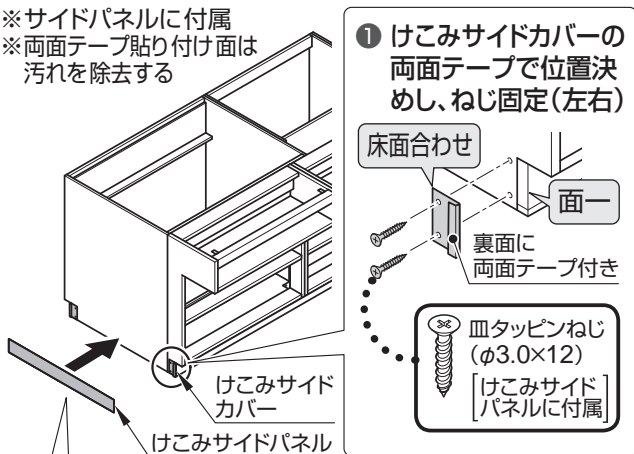
2

ユニットの取り付け

【フラット対面型 D970 1段引き出しタイプ】

3 けこみサイドパネルの取り付け

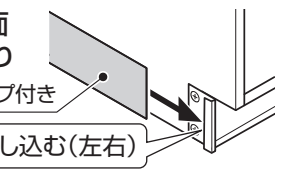
※サイドパネルに付属
※両面テープ貼り付け面は
汚れを除去する



② けこみサイドパネルを床面
合わせで両面テープで貼り
付ける

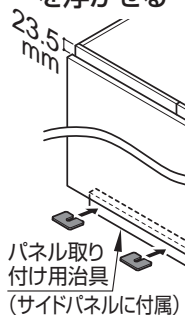
裏面に両面テープ付き

折り返しに差し込む(左右)



4 サイドパネルの取り付け

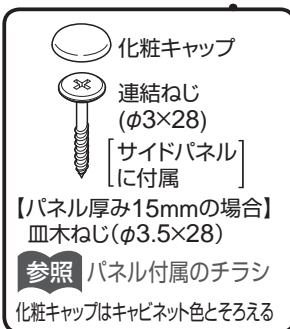
① 取り付け用
治具を床に
置き、パネル
を浮かせる



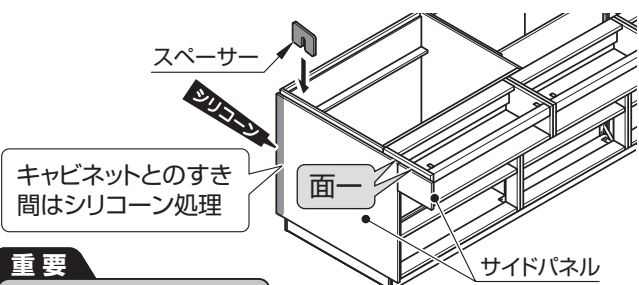
重要

- パネル上端は、キャビネット上端から23.5mmで揃える
高さが揃わない場合は、治具とパネルの間にスペーサーをはさみ調整する。
- パネルの方向に注意する
高さ・幅寸法が僅差のため、付け間違いに注意が必要です。

② ねじ固定



例：パネルに段差ができる場合



重要

スペーサーを入れて
面一にする

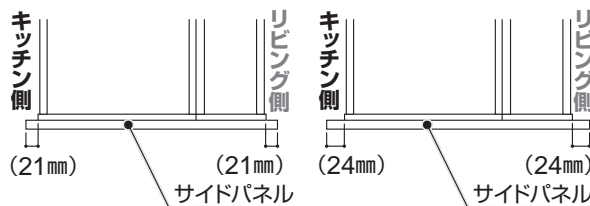
【サイドパネルの取り付け位置】

パネルはキッチン側とリビング側へ**均等**に配置してください

上から見た参考図

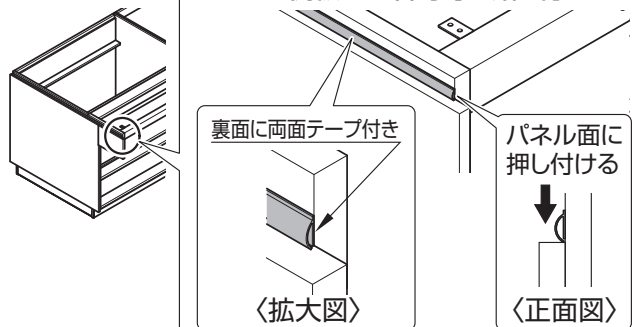
【パネル厚18mm未満】

【パネル厚18mm以上】



※ () 寸法は参考値

③ パッキンの取り付け(サイドパネルに付属)
パッキンの開口部を下に向け、キャビネット側板に左右均等に貼り付ける。



パッキンはキャビネット色とそろえる

2

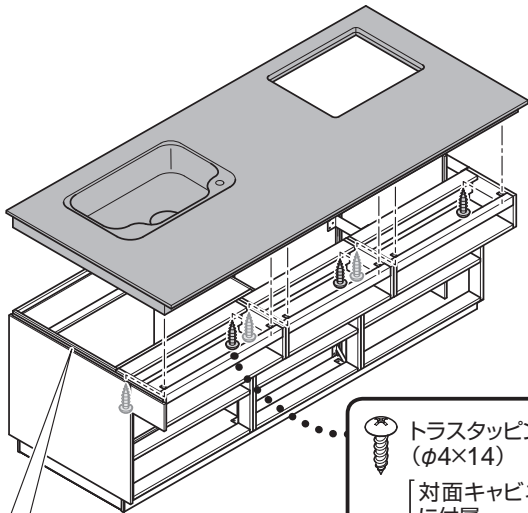
ユニットの取り付け

【フラット対面型

D9701段引き出しタイプ】

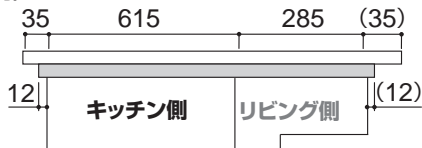
5 カウンターの取り付け

参照 P12・13 カウンターの取り付け



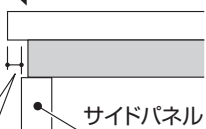
トラスタッピンねじ
(φ4×14)
[対面キャビネット
に付属]

〈奥行き方向〉



〈間口方向〉

← オープン側

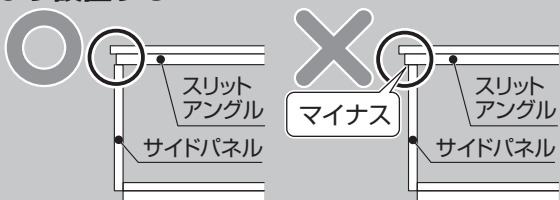


サイドパネルとカウンター端の寸法
はパネルの厚みにより4~8mm

※アイランドタイプの場合は左右均等に設置してください。

重要

スリットアングルとサイドパネルが
面一あるいはパネルがマイナスにならない
よう設置する

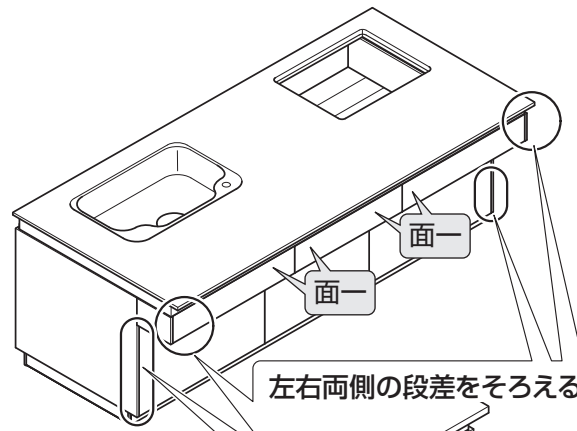


6 扉パネルの取り付けと調整

参照 P19 扉パネルの取り付けと調整

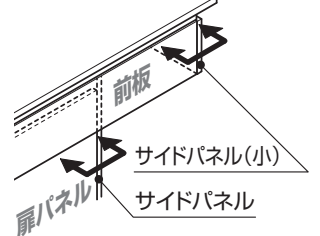
重要

- ・左右両側の段差をそろえる
- ・扉パネル、前板がサイドパネルより飛び出さないこと



左右両側の段差をそろえる

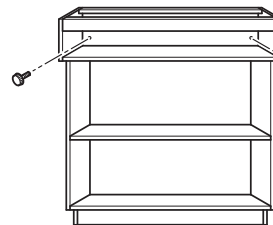
※図はアイランドタイプ



●引き出し前板の調整

キャビネット奥部のローレットねじで前後調整してください。

〈正面図〉



引き出しを外した奥
2カ所にローレット
ねじがあります

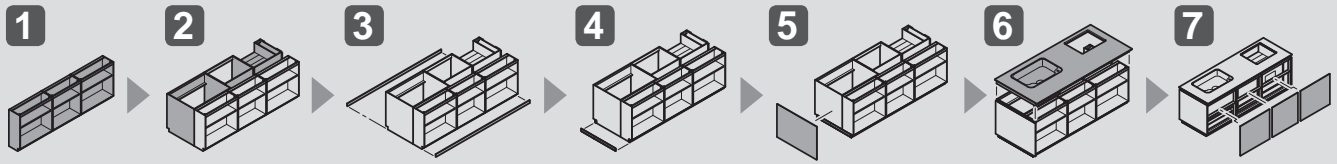


2

ユニットの取り付け

【フラット対面型 D9701 段引き出しタイプ】

フラット対面型 D970開き扉タイプ



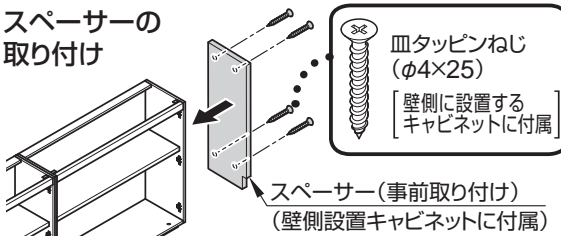
参照 スクリーンまたはガラスフレームそれぞれに付属の組立・設置説明書

1 リビング側キャビネットの取り付け

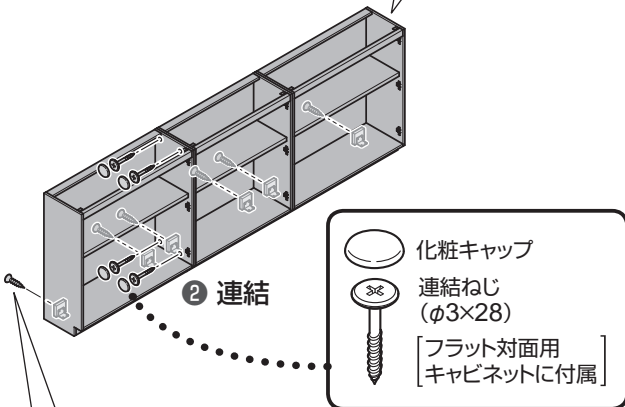
- 1 スペースの取り付け
- 2 フラット対面用キャビネットの連結

【片側壁付プランの場合】

- 1 スペースの取り付け

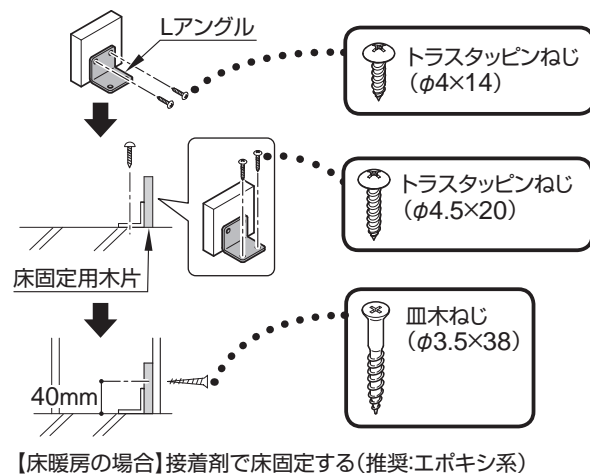


- 2 連結

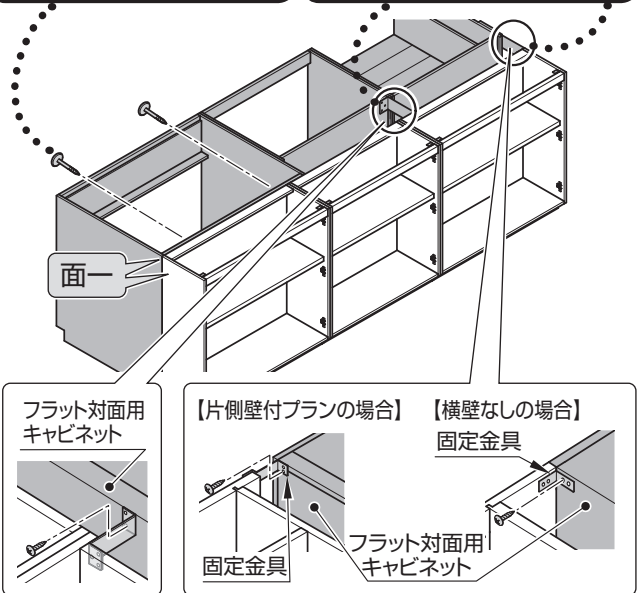
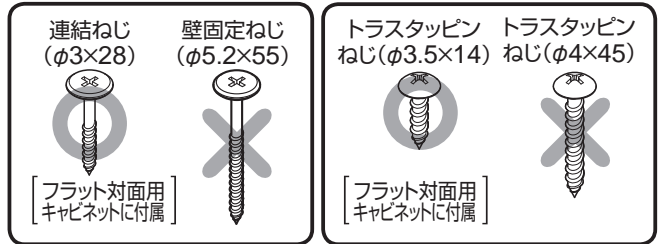


- 3 床固定

【床固定木片の取り付け】※フラット対面用キャビネットに付属



2 キッチン側キャビネットの取り付け

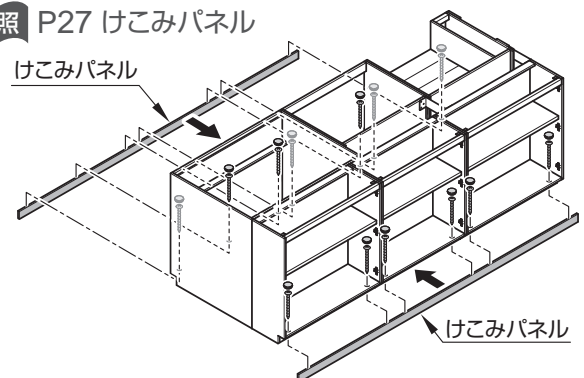


重要

背面固定は、ねじの長さにご注意する
ねじがとび出すおそれがあります。

3 けこみパネルの取り付け

参照 P27 けこみパネル



重要

カット面には必ず付属の縁貼り材をゴム系接着剤で貼る

2

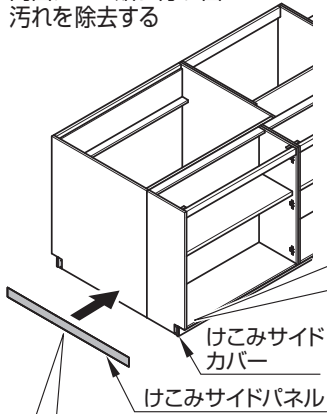
ユニットの取り付け

【フラット対面型

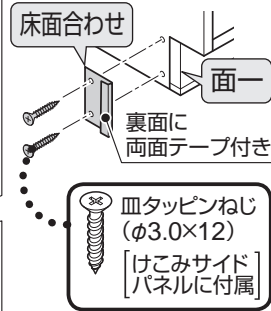
D970開き扉タイプ】

4 けこみサイドパネルの取り付け

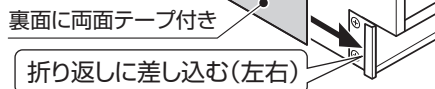
- ※サイドパネルに付属
- ※両面テープ貼り付け面は汚れを除去する



① けこみサイドカバーの両面テープで位置決めし、ねじ固定(左右)

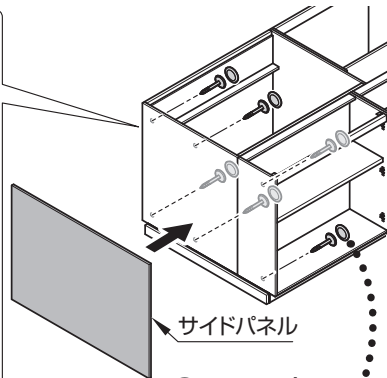
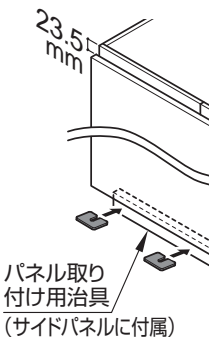


② けこみサイドパネルを床面合わせで両面テープで貼り付ける



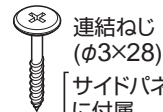
5 サイドパネルの取り付け

① 取り付け用治具を床に置き、パネルを浮かせる



② ねじ固定

化粧キャップ



【パネル厚み15mmの場合】
皿木ねじ(φ3.5×28)

参照 パネル付属のチラシ
化粧キャップはキャビネット色とそろえる

重要

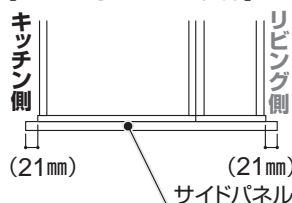
- パネル上端は、キャビネット上端から23.5mmで揃える
高さが揃わない場合は、治具とパネルの間にスペーサーをはさみ調整する。
- パネルの方向に注意する
高さ・幅寸法が僅差のため、付け間違いに注意が必要です。

【サイドパネルの取り付け位置】

パネルはキッチン側とリビング側へ均等に配置してください

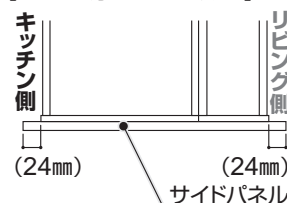
上から見た参考図

【パネル厚18mm未満】

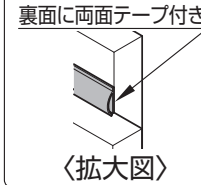
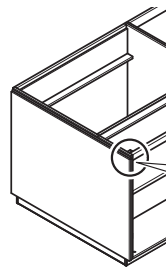


※()寸法は参考値

【パネル厚18mm以上】



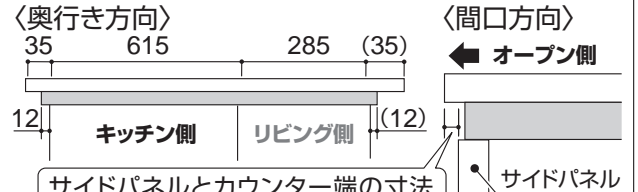
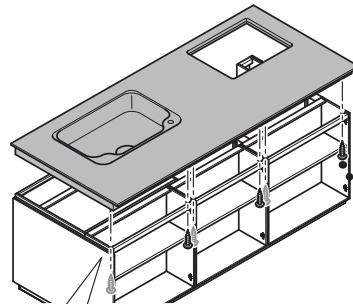
③ パッキンの取り付け(サイドパネルに付属)
パッキンの開口部を下に向け、キャビネット側板に左右均等に貼り付ける。



パッキンはキャビネット色とそろえる

6 カウンターの取り付け

参照 P12・13 カウンターの取り付け

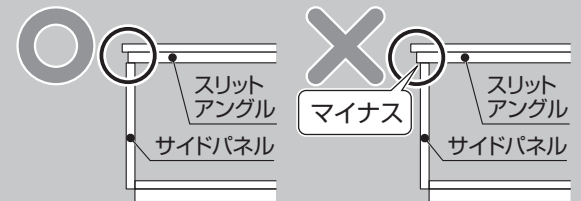


サイドパネルとカウンター端の寸法はパネルの厚みにより4~8mm

※アイランドタイプの場合は左右均等に設置してください。

重要

スリットアングルとサイドパネルが面一あるいはパネルがマイナスにならないよう設置する

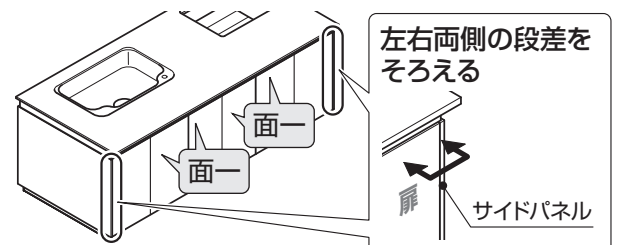


7 扉の取り付けと調整

参照 P32 着脱と調整

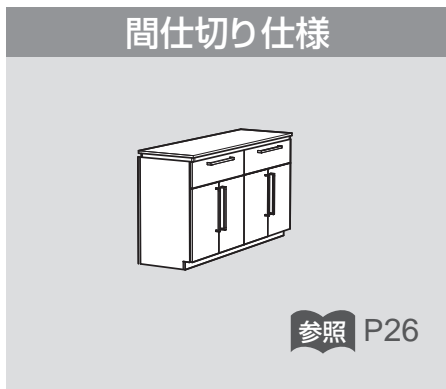
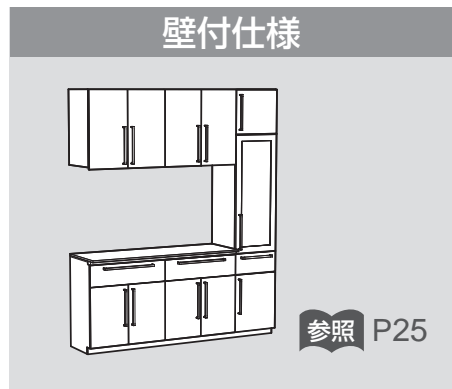
重要

- 左右両側の段差をそろえる
- 扉がサイドパネルより飛び出さないこと



※図はアイランドタイプ

周辺ユニット

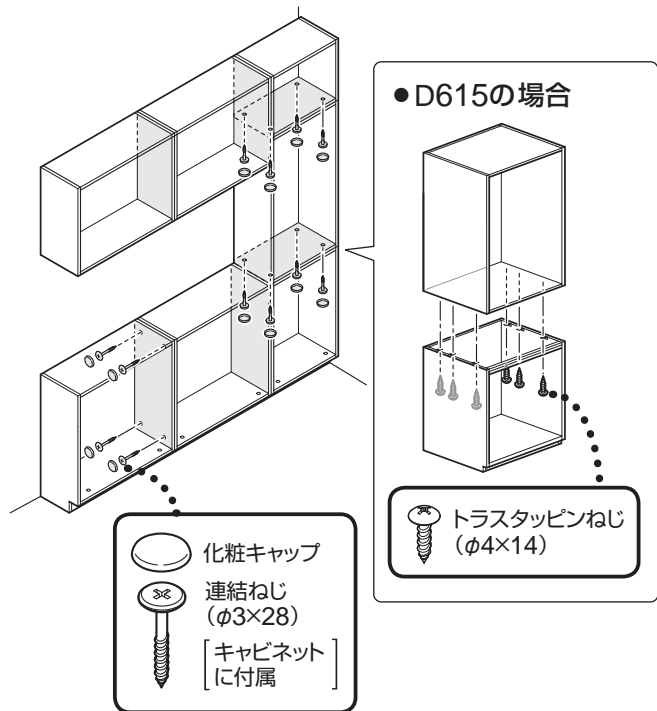


壁付仕様

1 キャビネットの取り付け

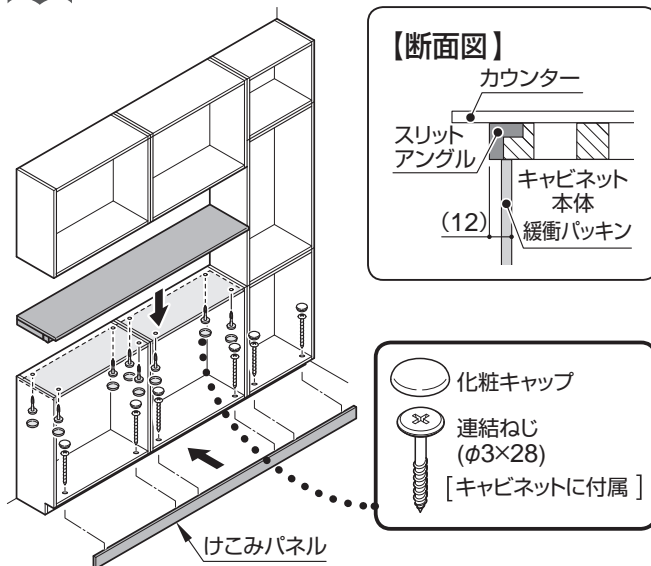
1 連結

※上下連結は必ず下のキャビネットから



2 カウンター・けこみパネルの固定

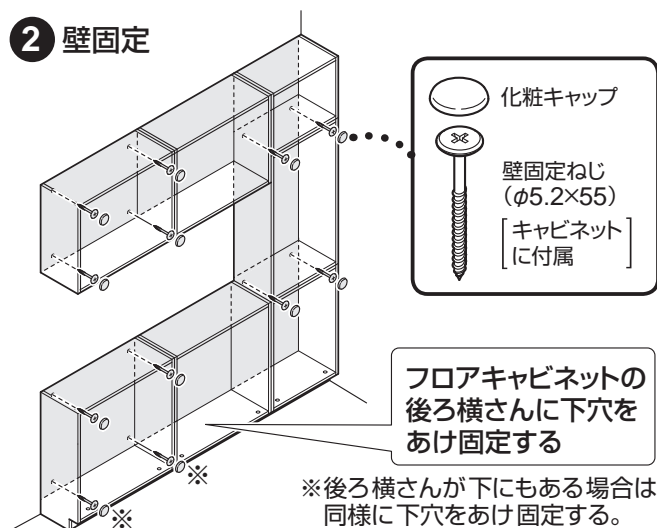
参照 P27 けこみパネル



●D615の場合

参照 P12・13 カウンターの取り付け

2 壁固定

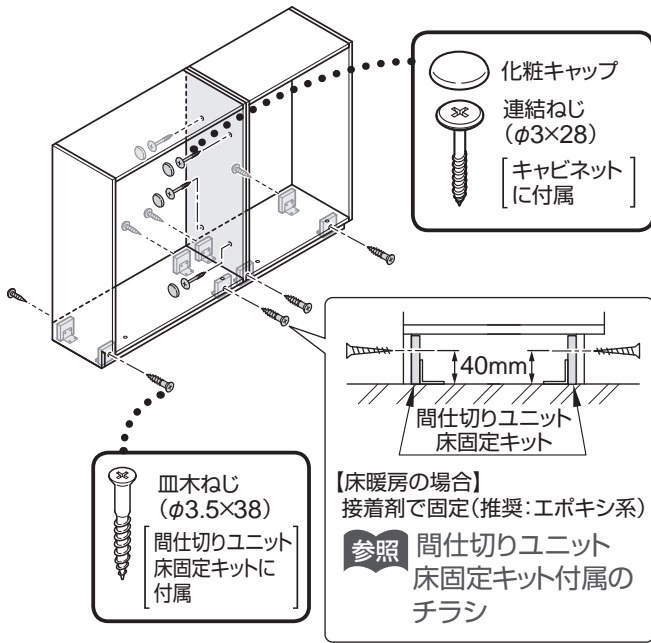


2

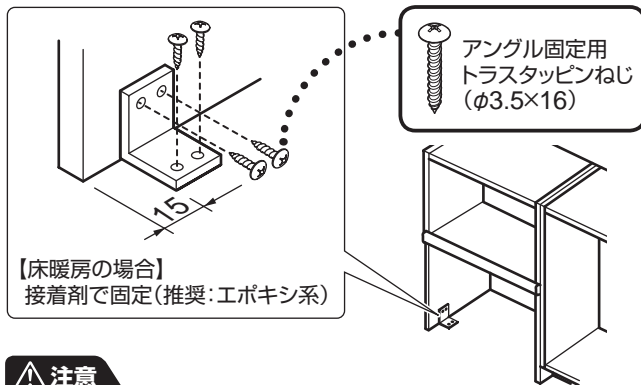
ユニットの取り付け

【周辺ユニット】

1 連結・床固定



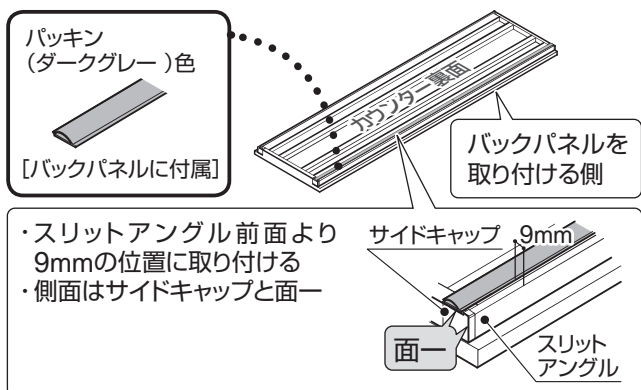
- オープンキャビネットの場合
隣接するキャビネットがない場合や側面がオープンの場合は、付属のLアングルで床面に固定する



注意

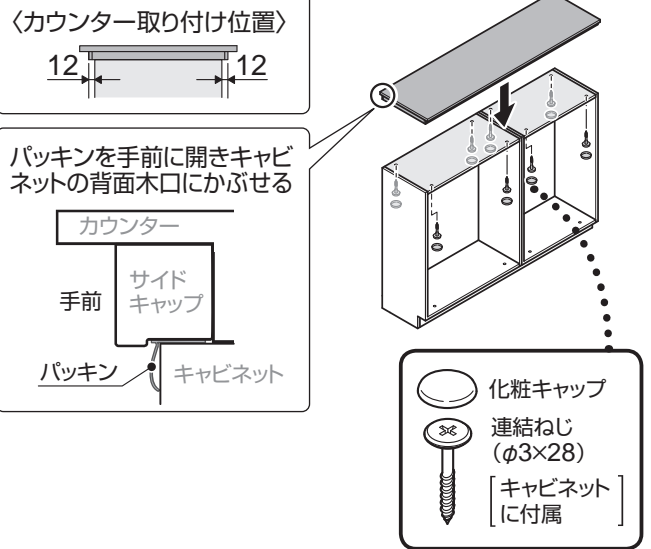
床暖房設備がある場合は、床にねじ固定しない
設備が破損するおそれがあります。
禁止

2 カウンターの固定

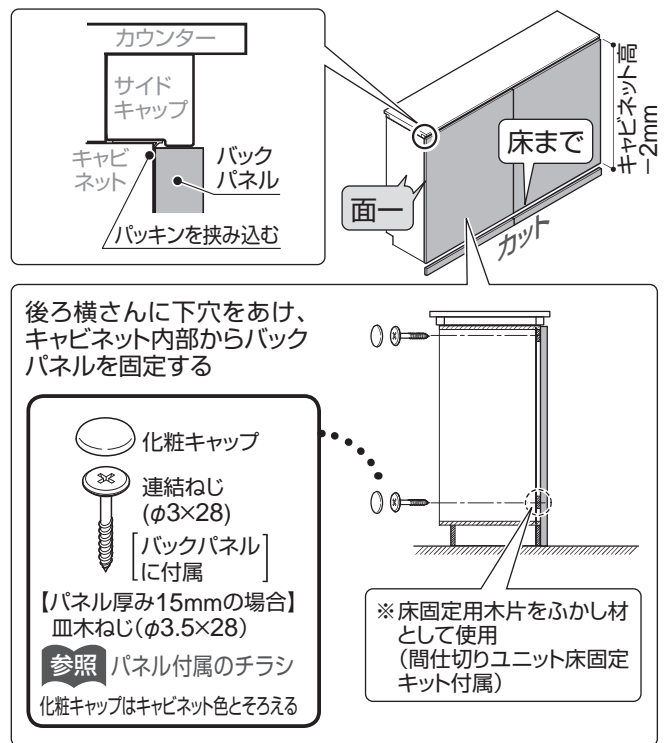


重要

付属のパッキンをカウンター裏面に必ず取り付ける
バックパネルとカウンターの間のすき間をふさぐ部材です。

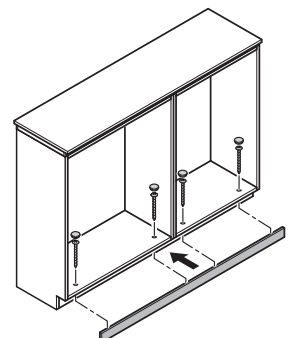


3 バックパネルの取り付け



4 けこみパネルの固定

参照 P27 けこみパネル

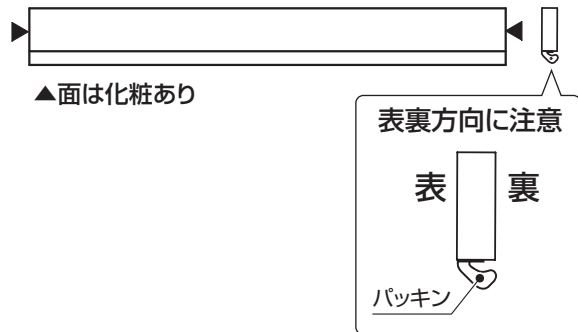


ユニットの取り付け【周辺工事】

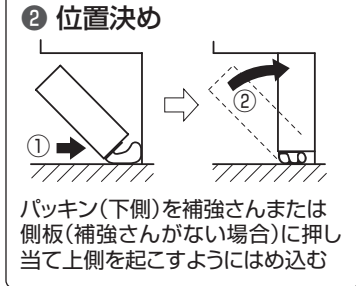
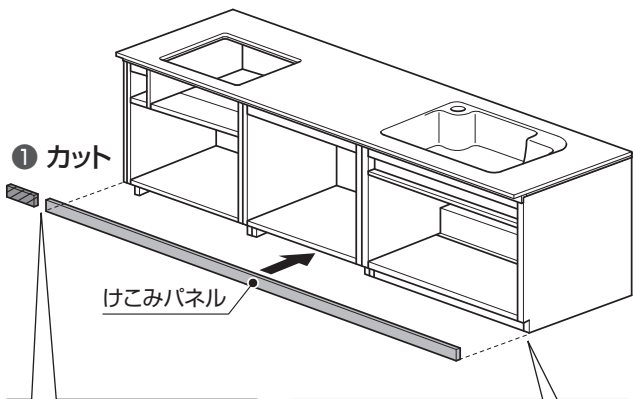
3. 部材の取り付け

1 けこみパネル

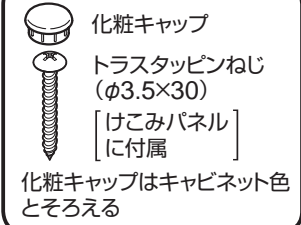
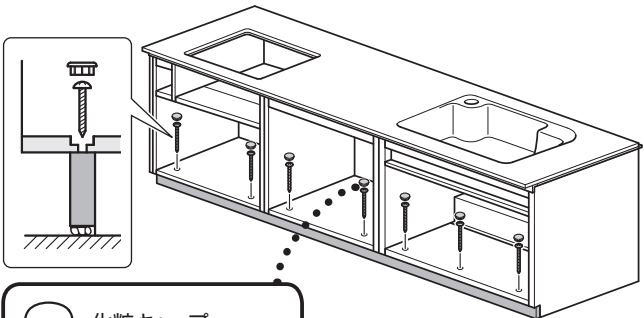
※設置床部の不陸に対応(最大10mm)できる仕様です。



1 カット・位置決め

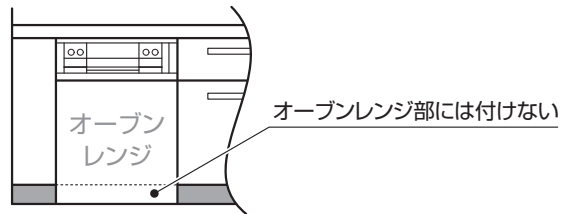


2 ねじ固定

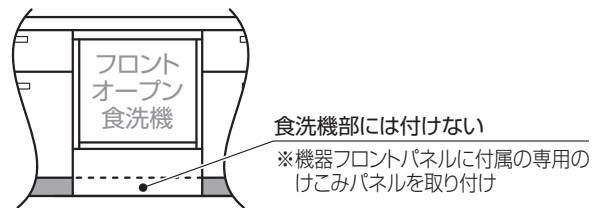


【おさまり例】

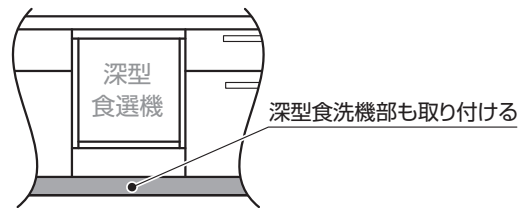
● オープンレンジがある場合



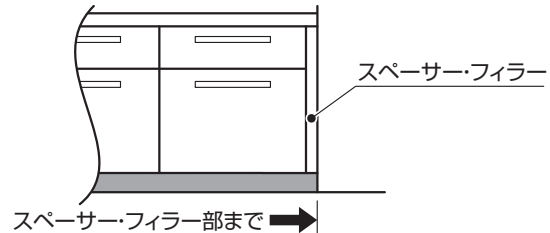
● フロントオープン食洗機がある場合



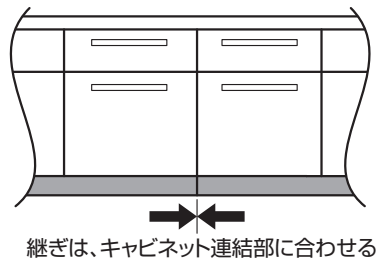
● 深型食洗機がある場合



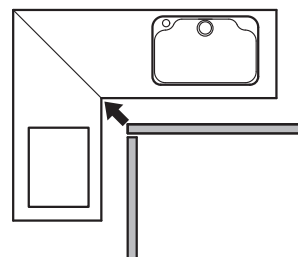
● スペース・フィラーがある場合



● 2枚使用する場合



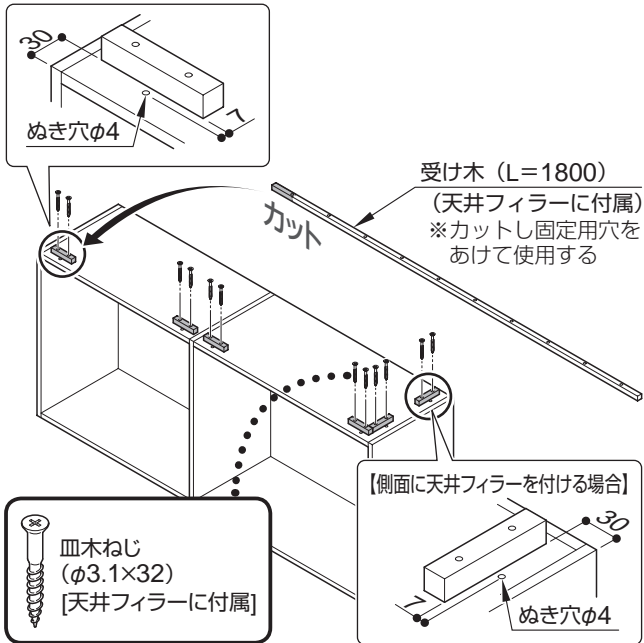
● L型の場合



2 天井フィラー

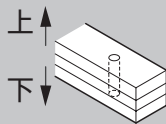
1 受け木の取り付け・ぬき穴あけ

※キャビネット設置前に取り付けてください。

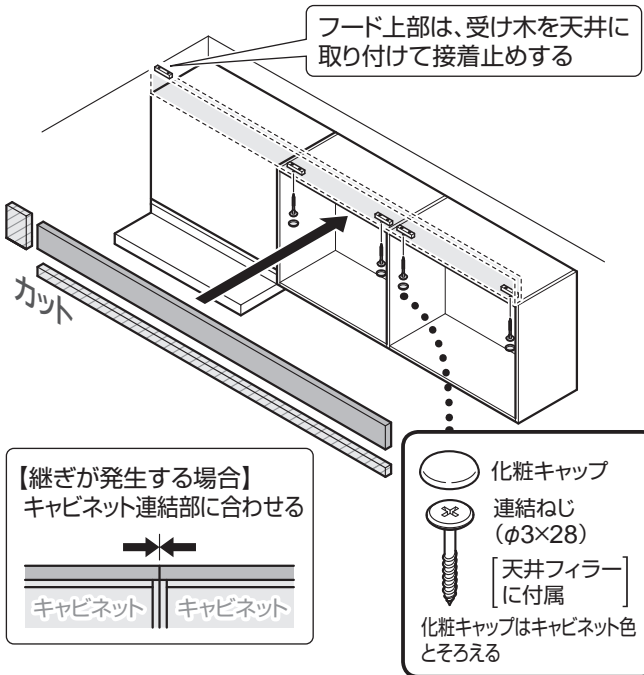


重要

受け木は穴のない部分を使用する場合、上下方向に注意する積層面にねじを打たないでください。

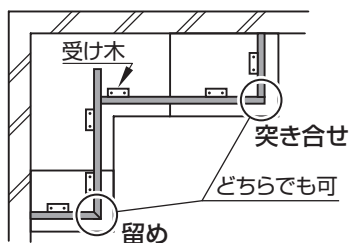


2 天井フィラーのカット・取り付け

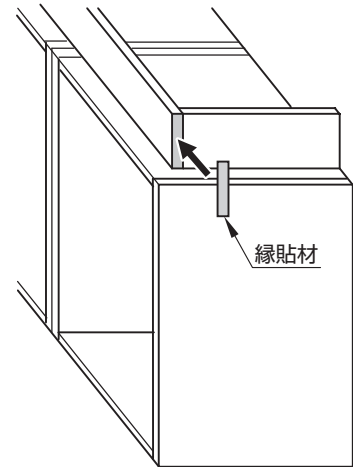


【おさまり例】

●L型の場合



- 突き合わせ接合でカット面がオープンになる場合 付属の縁貼材をゴム系接着剤で貼る



- フードのみ(ウォールキャビネットなし)の場合

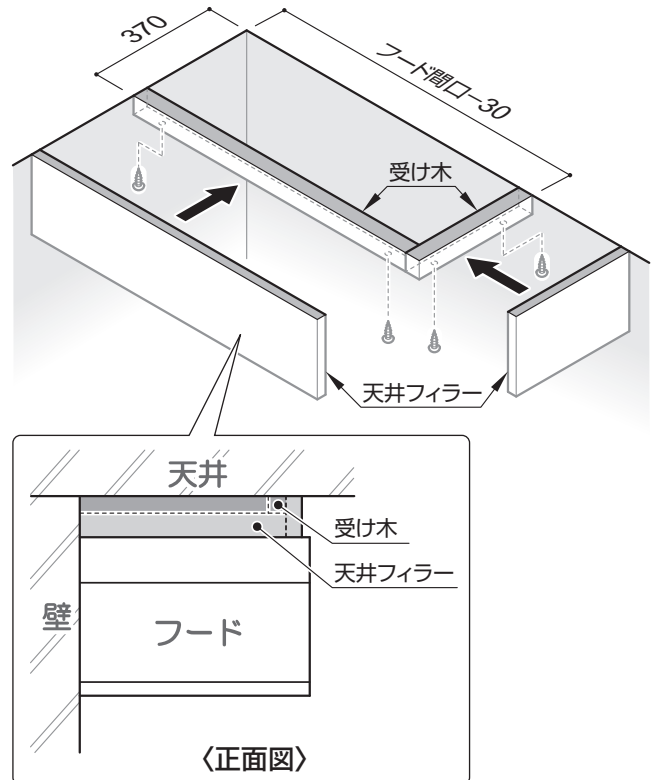
1 受け木(天井フィラー付属)の取り付け(天井面)

- ※野縁などに確実にねじ固定する
- ※必ずフードの取り付け前に取り付ける

2 天井フィラーの取り付け

- ※キッチンパネル用の両面テープと接着剤(現場調達)または同等のもの

※図はフード左側が壁の場合



注意



必ず実行

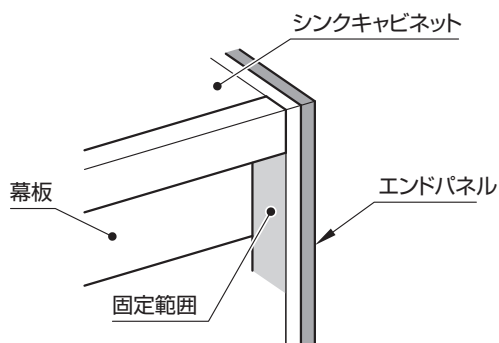
天井面への受け木取り付けおよび受け木への天井フィラー取り付けは確実に取り付ける取り付けを誤ると天井フィラーが落下してけがをすおそれがあります。

3

部材の取り付け

3 エンドパネル

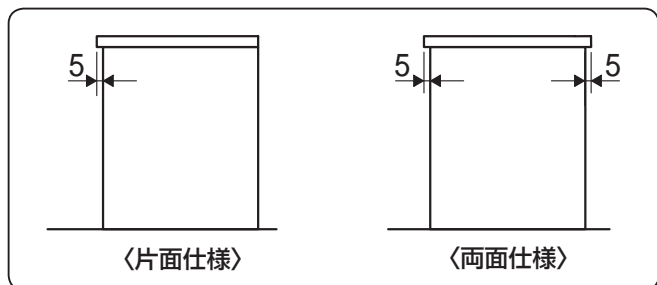
- シンクキャビネットの場合
エンドパネルは下図の範囲内に固定する



- インセットの場合

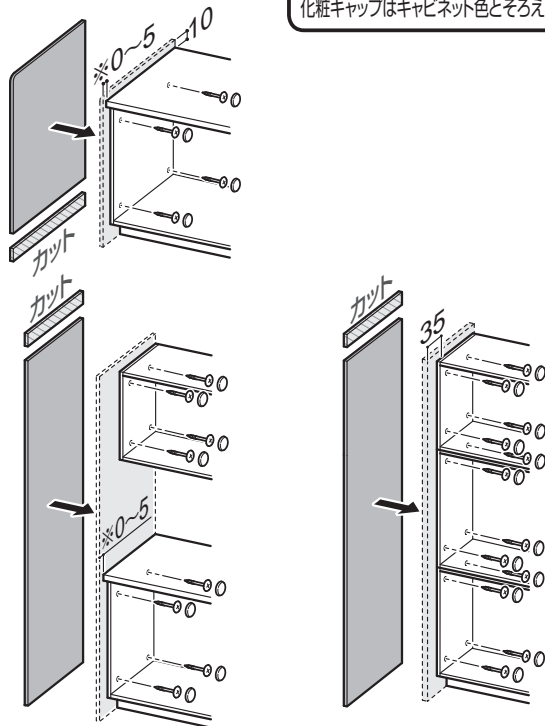
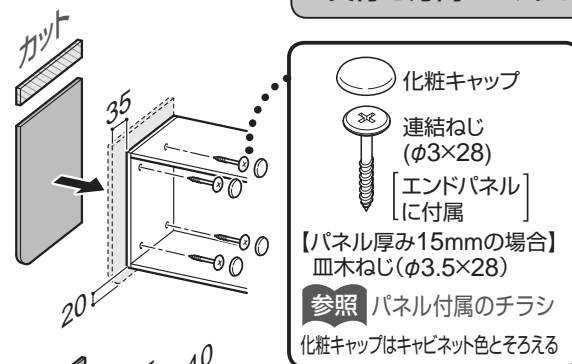


- 重要**
- カットは高さ方向のみ
 - 奥行き方向はカットしない



- アウトセット(片面仕様)の場合

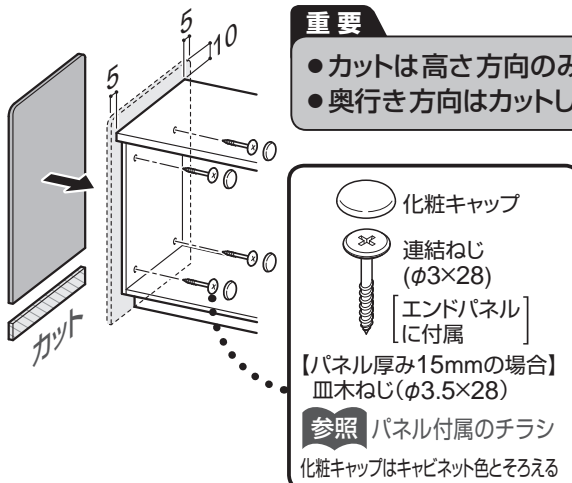
- 重要**
- カットは高さ方向のみ
 - 奥行き方向はカットしない



- 重要**
- エンドパネルよりカウンター前面が出ないこと

- アウトセット(間仕切り仕様)の場合

- 重要**
- カットは高さ方向のみ
 - 奥行き方向はカットしない



4

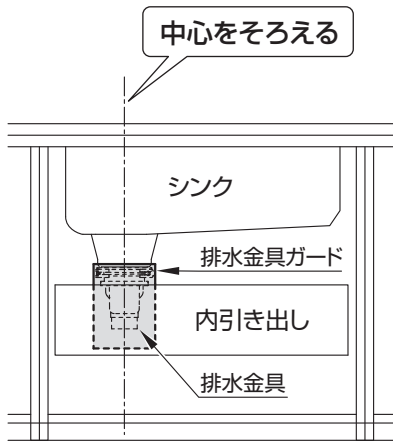
キャビネット内の部材 (排水金具ガード・浄水器カートリッジホルダー・フライパンフック・その他)

排水金具ガード

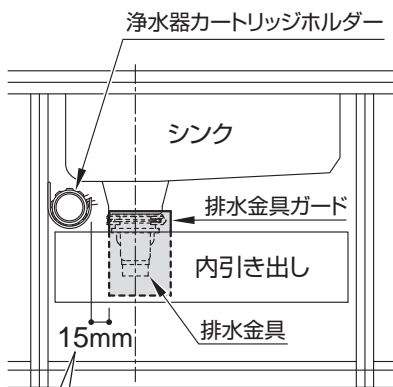
※内引き出し付シンク用キャビネットに付属
シンク用キャビネットの内引き出しに取り付ける

1 位置決めをする

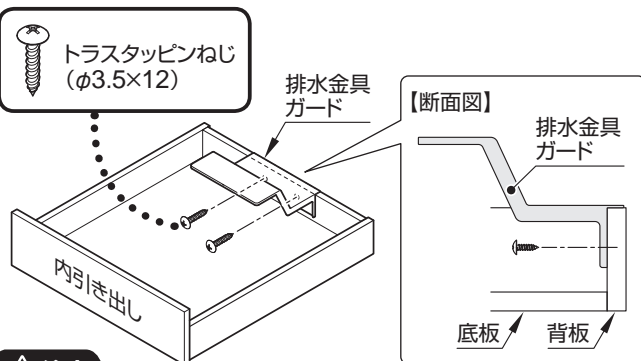
〈浄水器カートリッジホルダーが付かない場合〉



〈浄水器カートリッジホルダーが付く場合〉
洗浄器カートリッジと干渉しない位置に取り付ける



2 内引き出しの背板に固定する



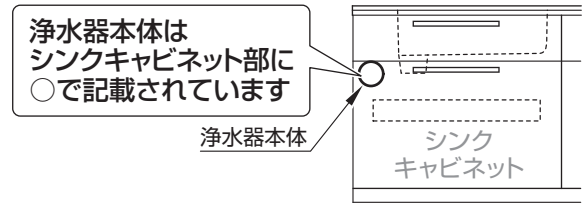
注意
必ず排水金具ガードを取り付ける
取り付けないと、排水金具と引き出し収納物とが干渉し、
水漏れの原因になります。
必ず実行

浄水器カートリッジホルダー

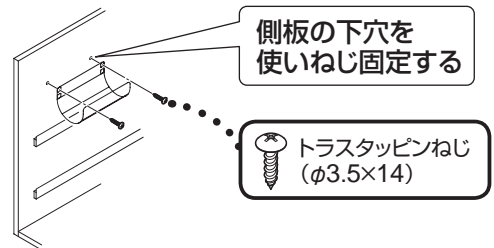
1 取り付け位置確認

レイアウト図面で浄水器本体の位置を確認する

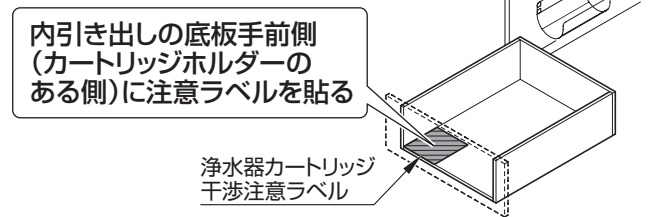
〈レイアウト例:左側設置〉



2 取り付け



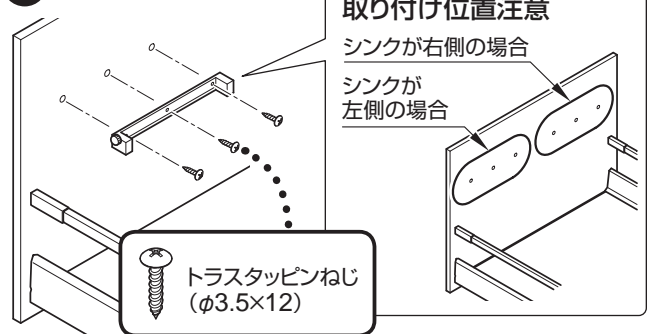
〈内引き出しがある場合〉



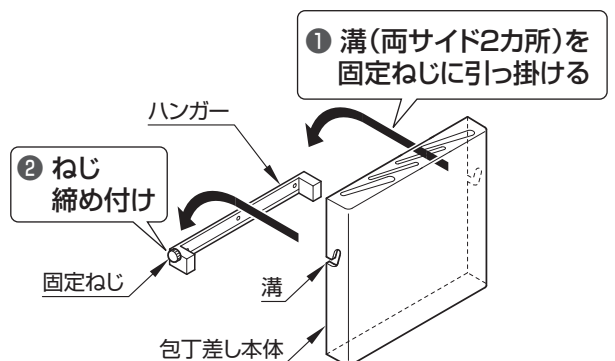
包丁差し(縦差しタイプ)

※シンク用キャビネットに付属

1 ハンガーの取り付け



2 包丁差し本体の取り付け

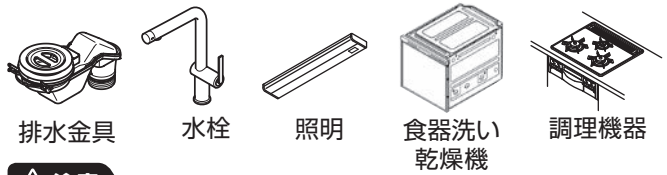


3

部材の取り付け

5 排水金具・水栓金具・機器類・その他

参照 それぞれに付属の組立・設置説明書

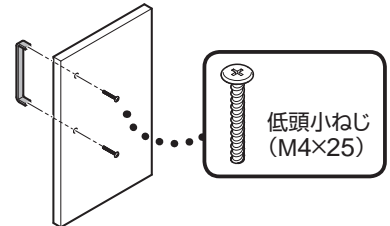


注意

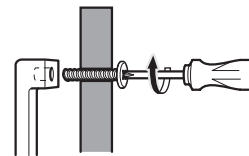
! 付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
必ず実行 取り付け方法を誤ると、事故や故障の原因となるおそれがあります。

6 取っ手

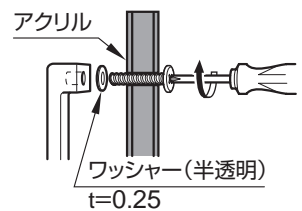
扉、引き出し前板に
付属の取っ手を
取り付ける



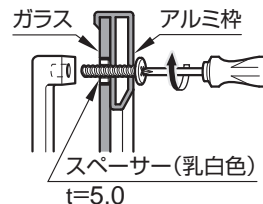
● アクリル扉・ガラス扉
以外の場合



● アクリル扉の場合



● ガラス扉の場合

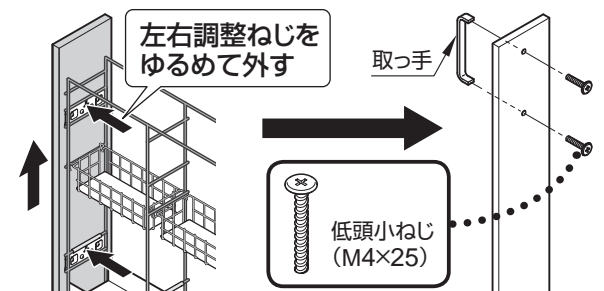


重要

- ワッシャー/スペーサーを必ず取り付ける(アクリル扉・ガラス扉のみ)
- ハンドドライバーで締める
- 締めすぎに注意
締めすぎると破損する原因になります。
- ねじロック剤や接着剤は使用しない
破損する原因になります。(アクリル扉のみ)

● 調味料・一升びんラックの場合

ラックが干渉して取っ手が取り付けられない場合は、
前板を外した状態で取り付ける

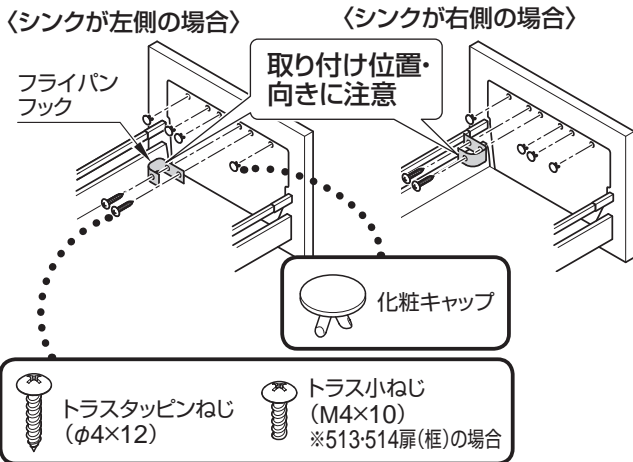


参照 P34 調味料・一升びんラック

フライパンフック

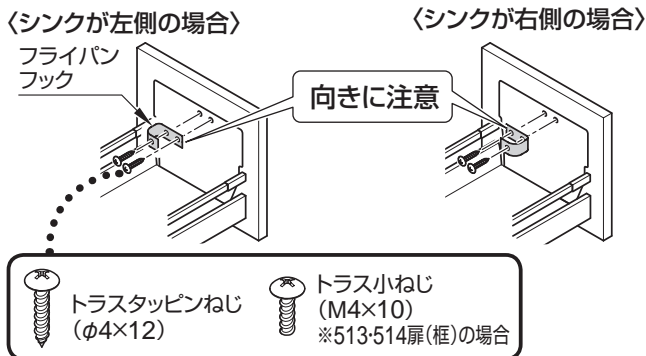
● W750の場合

付属のねじで固定し、使用しない穴に付属の化粧キャップ
を取り付ける



● W600の場合

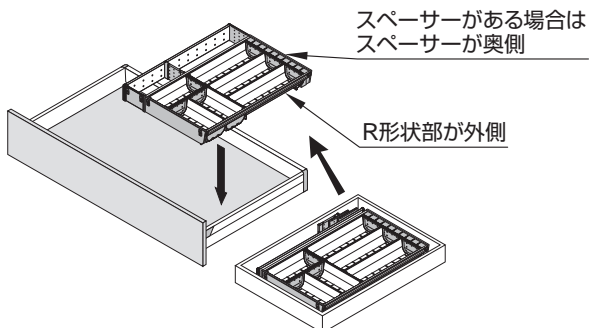
付属のねじで固定する



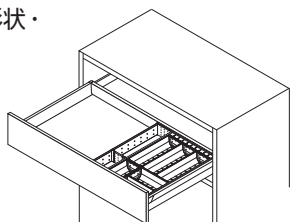
カトラリーボックス(オプション)

調理スペース下キャビネットおよび周辺キャビネットの
最上段に設置する

- ※ 包装箱に表示されている完成図に合わせて、引き出しの
片端に寄せて設置してください。
- ※ 完成図が表示されていない場合はそのまま設置してください。



奥行きはピッタリ合いますが、間口はスペースが空きます。
※ 図は W750用 (品番により形状・
組み合わせが異なります。)



3

部材の取り付け

4. 着脱と調整

注意

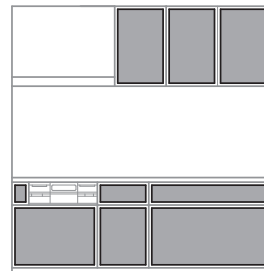


必ず実行

扉と引き出しの調整は電動工具を使わないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

重要

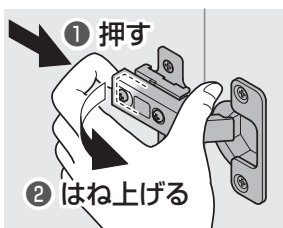
扉取り付け後は、扉と扉の左・右・上・下のすき間が均等、扉表面が面一となる様に調整する



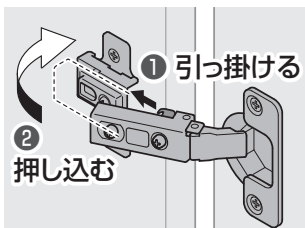
1 扉

1. 開き扉

【取り外し】

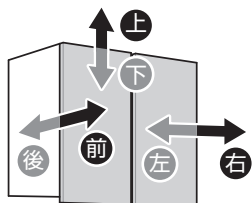


【取り付け】



【調整方法】

〈前後調整〉(±4)
調整ねじを回して調整



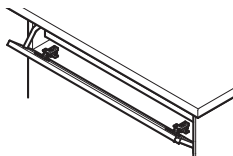
〈上下調整〉(±2.5)
調整ねじをゆるめて両手で支えながら調整し、調整後ねじを締める

〈左右調整〉(±2)
調整ねじを回して調整
※回し過ぎに注意
(ねじが脱落(破損)し、調整できなくなります。)

2. パックンポケット

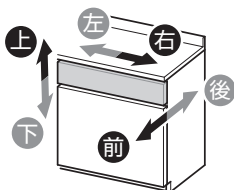
【取り外し/取り付け】

「1. 開き扉」と同じ要領
※下段側から手を回して取り外し、取り付けを行う



【調整方法】

〈前後調整〉(±4)
扉を一旦外し調整ねじを回して調整



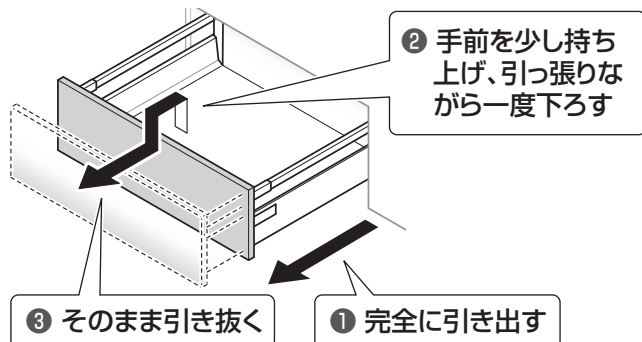
〈上下調整〉(±2.5)
調整ねじを回して調整
※回し過ぎに注意(ねじが脱落(破損)し、調整できなくなります。)

〈左右調整〉(±2)
調整ねじをゆるめ、両手で支えながら調整し、調整後ねじを締める

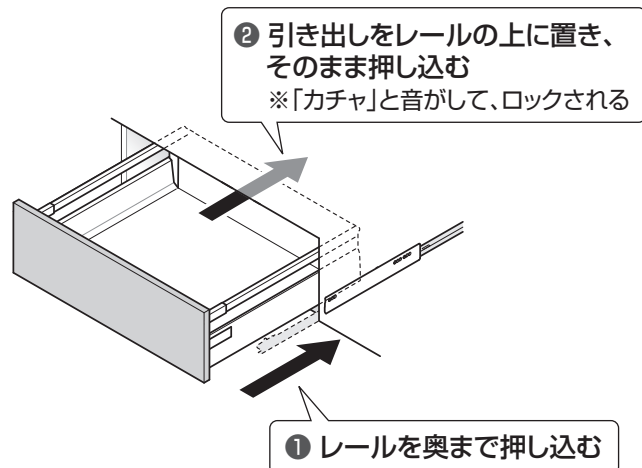
2 引き出し

1. 引き出し

【取り外し】



【取り付け】



注意



必ず実行

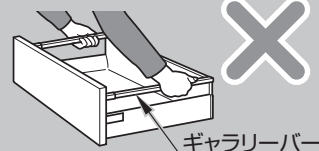
引き出し取り付け後は必ず引き出しを2~3回最後まで押し込み、引き出しを引き出した状態で扉を下に押ししても引き出しの背板が持ち上がらないことを確認する
正確に取り付けられていないと、使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

注意



禁止

ギャラリバー部分を持たない
ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。



引き出し(つづき)

2. 連動引き出し

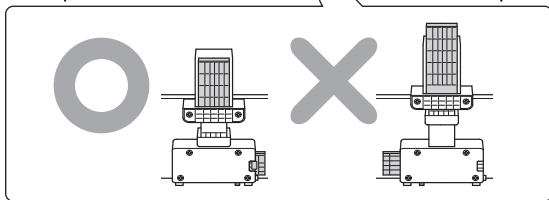
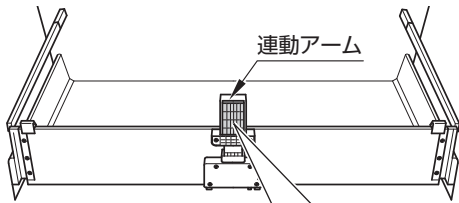
【取り外し／取り付け】

連動タイプ引き出し

「1. 引き出し」と同じ要領

※連動アームが下がっていることを確認し、取り付ける

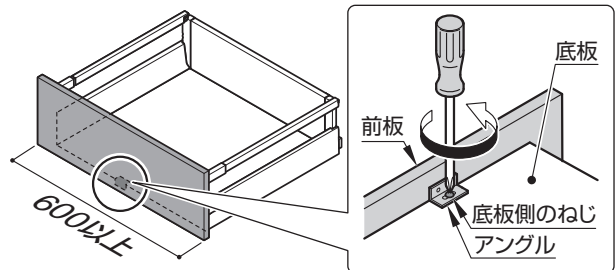
※取り付け後、引き出しが正常に連動するか確認する



【調整方法】

● W600以上の場合

引き出し底板裏面にあるアングルのねじをゆるめる



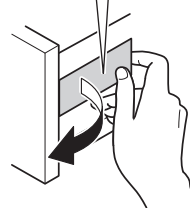
重要

調整後は必ず、ねじを締めつける

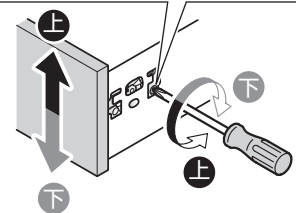
引き出しの扉と底板の間にすき間が発生、また底板のたわみの原因になります。

〈上下調整〉(±2.0)

① 引き出し側面のキャップを取り外す

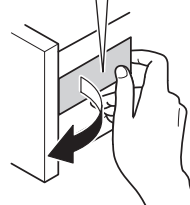


② 上下調節ねじを回して調整する

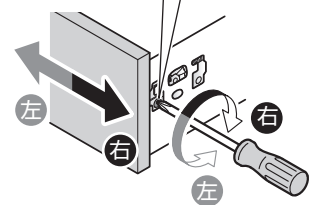


〈左右調整〉(±1.0)

① 引き出し側面のキャップを取り外す

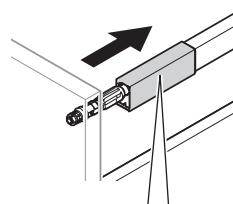


② 左右調節ねじを回して調整する

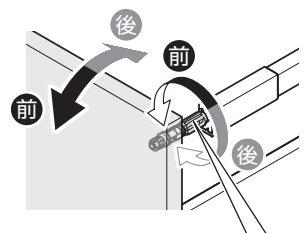


〈傾き調整〉

① カバーキャップをキャビネット奥行き方向にスライドさせる



② 中の部品を回転させて調整する

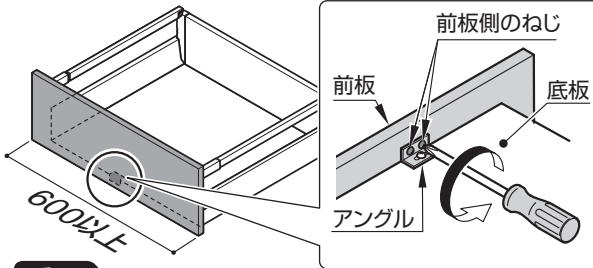


引き出し(つづき)

2. 連動引き出し(つづき)

【前板の取り外し】

- W600以上の場合
引き出し底板裏面にあるアングルのねじを外す



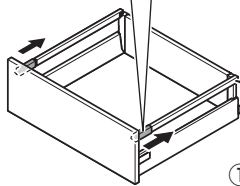
重要

調整後は必ず、ねじを取り付ける

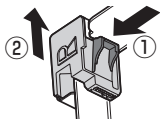
引き出しの扉と底板の間にすき間が発生、また底板のたわみの原因になります。

- ギャラリーバーがある場合
※ギャラリーバーを取り外さないと前板は外せません。

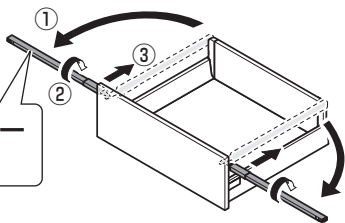
- 1 カバーキャップをキャビネット奥行き方向にスライドさせる



- 2 樹脂のツメを押し込んだ状態で上に引き抜く

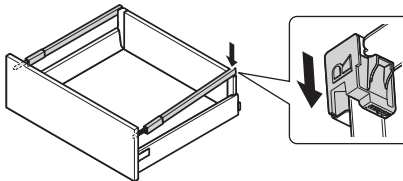


- 3 ギャラリーバーを取り外す

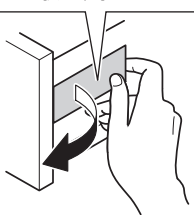


【ギャラリーバーの取り付け】

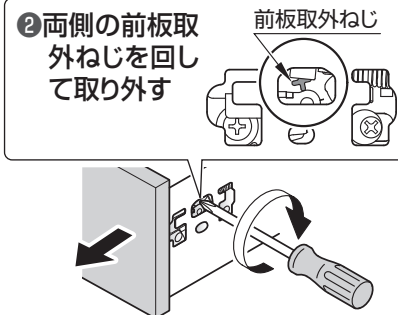
取り外しと逆の手順で取り付ける



- 1 引き出し側面のキャップを取り外す

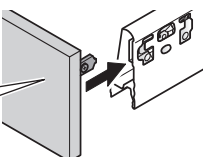


- 2 両側の前板取外ねじを回して取り外す



【前板の取り付け】

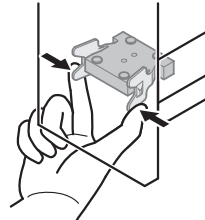
前板を前面から、カチッと音がするまではめ込む



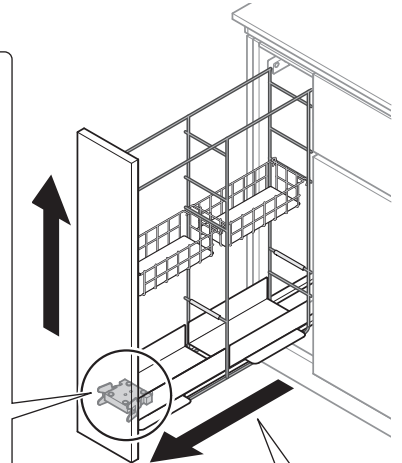
3. 調味料・一升びんラック

【取り外し】

- 2 レバーを内側に押し込みながら、引き出しを上方向へ持ち上げる



内側のトレーを外し、外側からレバーを操作することもできます。



- 1 引き出しを完全に引き出す

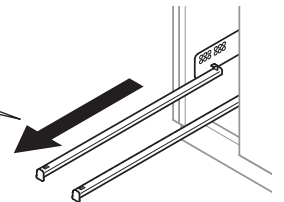
重要

無理に外さない

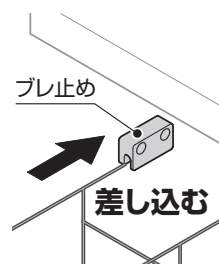
作動不良や破損のおそれがあります。

【取り付け】

- 1 レールを完全に引き出す



- 2 ブレ止めに通しながら、レールに置く

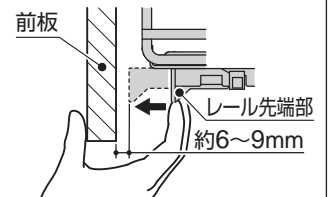


- 3 左右のレールの先端部を前板側へ最後まで確実に引き寄せる

重要

必ず実施する

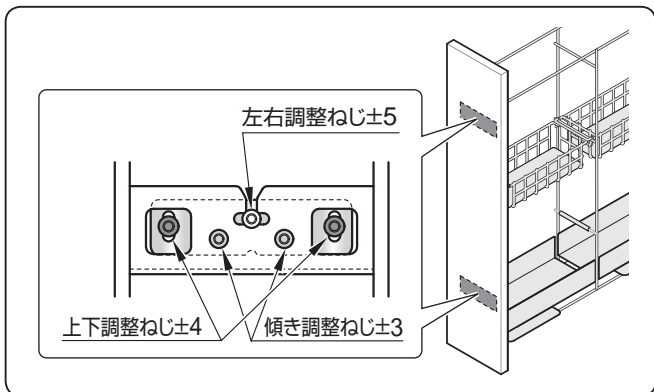
引き出しの落下・破損の原因になります。



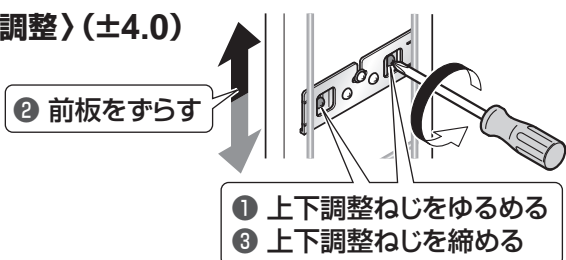
- 4 そのまま押し込む

「カチカチッ」と音がしてロックされます。取り付け後は2~3回開閉して、確実に取り付けられていることを確認してください。スムーズに動くか、ぐらつきはないか確認してください。

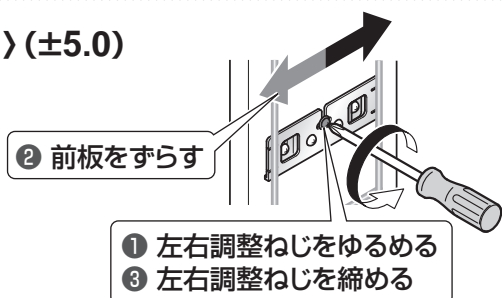
【調整方法】



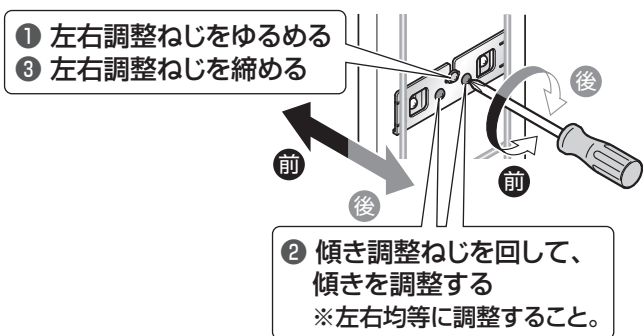
〈上下調整〉(±4.0)



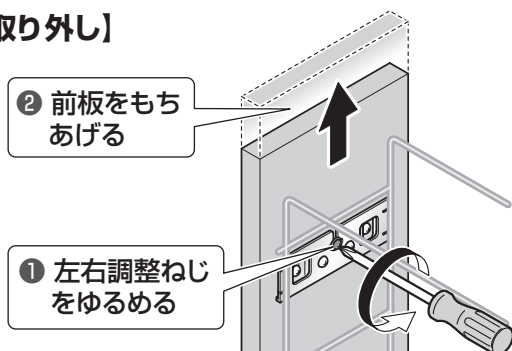
〈左右調整〉(±5.0)



〈傾き調整〉(±3.0)



【前板の取り外し】

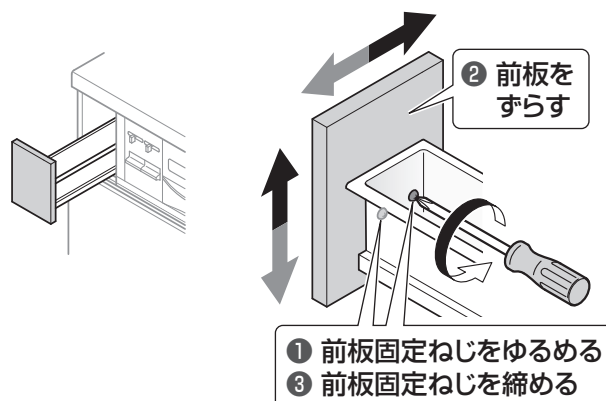


【前板の取り付け】

取り外しと逆の手順で取り付ける

4. コンロ用フロアキャビネット小引き出し

【調整方法】 (上下±1.5 / 左右±1.0)

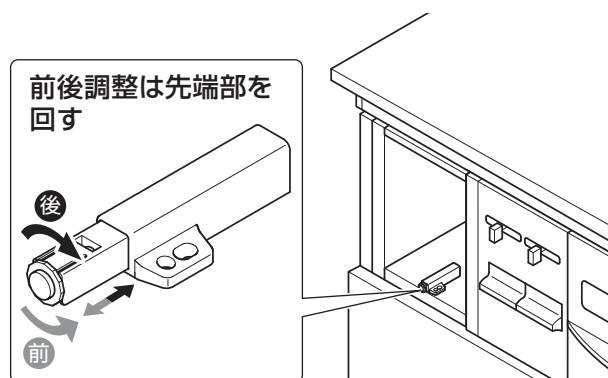


5. プッシュラッチ

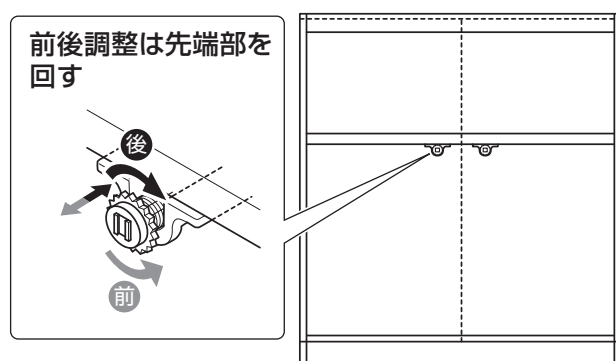
※製品によって使用するプッシュラッチの形状が異なります。

【調整方法】

コンロ用キャビネット小引き出し部



フラット対面用開き扉



引き出し(つづき)

6. アジャストボックス付き内引き出し

ステンレスシートを設置する場合のみ取り外します。

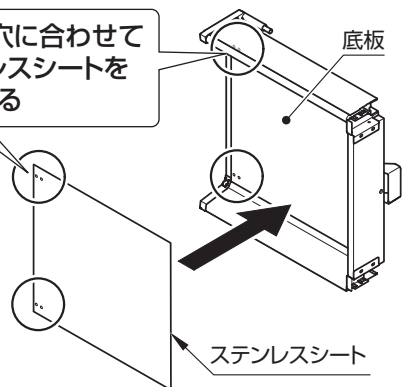
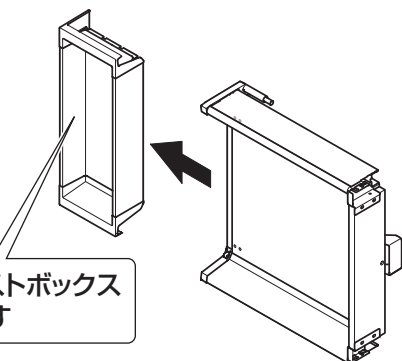
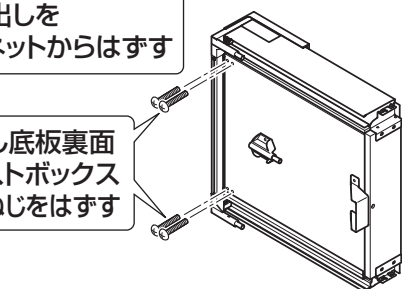
【取り外し】

① 内引き出しを
キャビネットからはずす

② 引き出し底板裏面
アジャストボックス
固定用ねじをはずす

③ アジャストボックス
をはずす

④ 底板の穴に合わせて
ステンレスシートを
セットする



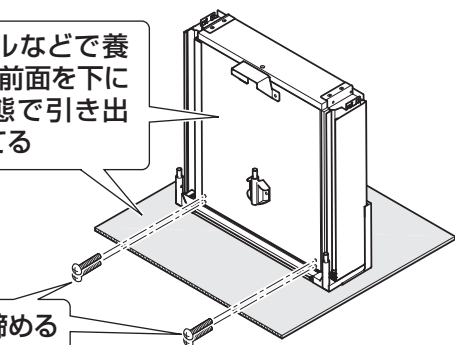
【取り付け】

① アジャストボックスを戻す

② 段ボールなどで養生して、前面を下にした状態で引き出しを立てる

③ ねじを締める

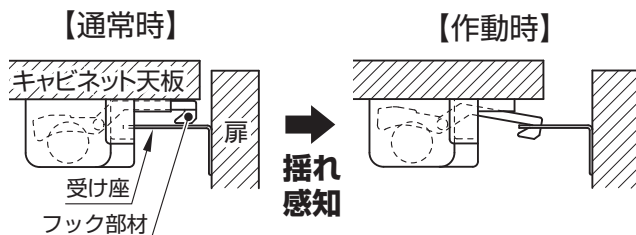
④ 内引き出しをキャビネットに戻し、アジャストボックスおよび連動機構が正常に動くことを確認する



3 キャッチ機構

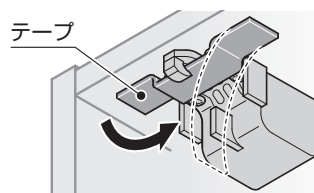
【特徴】

キャビネットが揺れていたり、傾いた状態のとき、内部のボールの動きにより、本体のフック部材が下がった状態を維持しようとして、扉を閉めると自動的に開け閉めできる状態に戻ります。



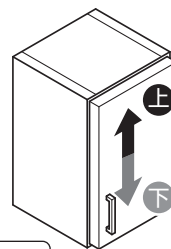
【注意】

搬送中の破損防止対策として、ロック爪をテープで固定しています。組立・設置完了後、テープをはがしてください。

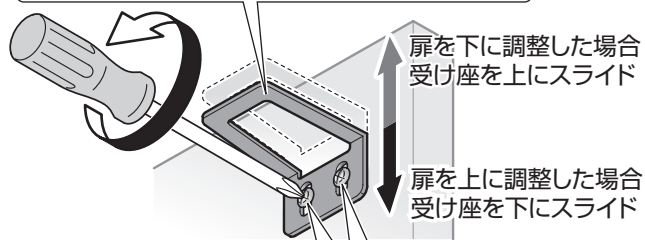


【調整方法】

● 扉を上下に調整した場合
キャッチ機構の受け座の
位置を調整する



② 受け座を上下にスライドさせて調整する
受け座本体調整代(上:3.5mm 下:3.5mm)



① 固定ねじをゆるめる

③ 固定ねじを締める

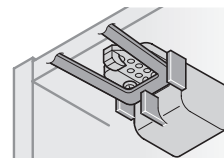
重要

以下のことを確認する

- ・受け座が水平になっている
- ・受け座が変形していない
- ・ねじが空回りして弱くなっていない

受け座が斜めになっていたり、変形していると正しく機能しない可能性があります。

〈調整後の確認〉



重要

扉が完全に閉まることを必ず確認する

扉が閉まらない場合や異音がある場合は再度、扉および受け座を調整して扉が完全に閉まるようにしてください。

5.コーキング処理

注意



●取り付け・仕上げに使われる、接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って、正しく使う

誤った使いかたをすると、人体に影響が出たり、キッチン部材・床・壁の損傷や劣化の原因になります。

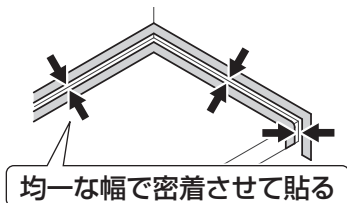
必ず実行 ●確実にシリコンシール剤でシールする

シールが不足や不完全な場合、水こぼれでキッチン全体やエンドパネルおよび壁や床をいためるおそれがあります。

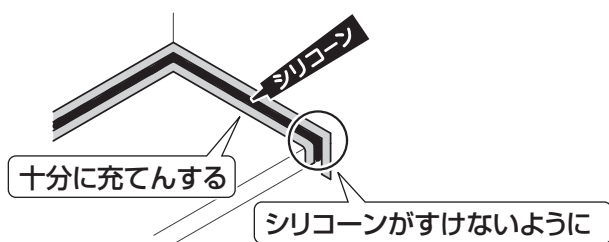
コーキング処理の手順

シリコンシール剤塗布部はエタノールなどで必ずふき取る

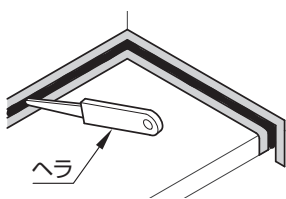
① マスキングテープを貼る



② シリコンシール剤を充てんする



③ ヘラを使って凸凹がないように仕上げ、マスキングテープをはがす

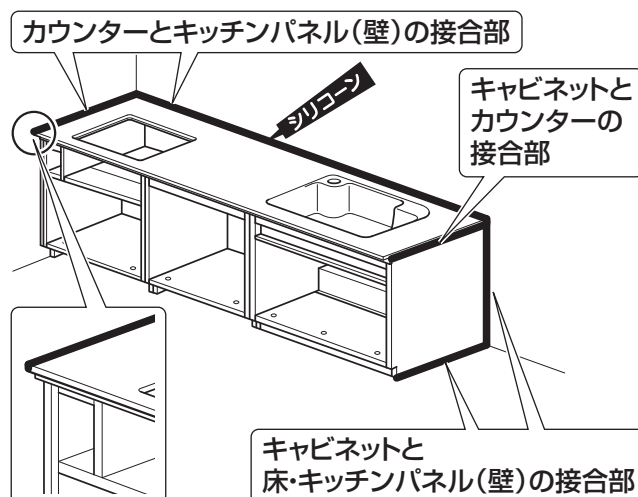


コーキング部位

キッチンカウンター周辺の水はねや水だれなどのおそれのある部位は、シリコンシール剤でシールする

※壁面がキッチン取り付け後、建築工事による仕上げの場合は、コーキング処理も材工建築工事となります

※図はシンク側オープン、エンドパネルなしの場合



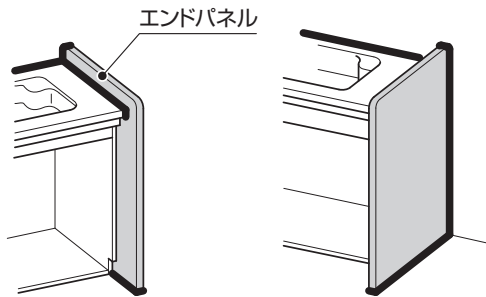
【シリコン使用部位と色】

※各接合部位に応じて使い分けてください。

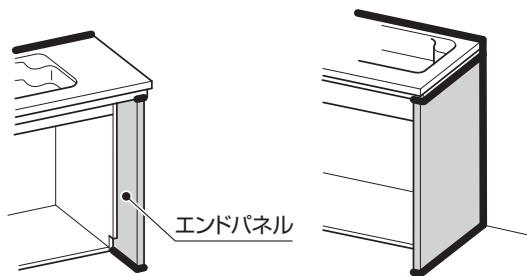
接合部位		色
カウンター	壁 (キッチンパネルなし)	ホワイト
	壁 (キッチンパネルあり)	ホワイト・ベージュ・グレー (キッチンパネル色合わせ)
	キャビネット	ホワイト・ダークグレー (キャビネット色合わせ)
	エンドパネル	クリア
キャビネット エンドパネル	躯体(壁・床)	クリア (もしくは現場状況に合わせて 選定ください)

コーキング部位 (つづき)

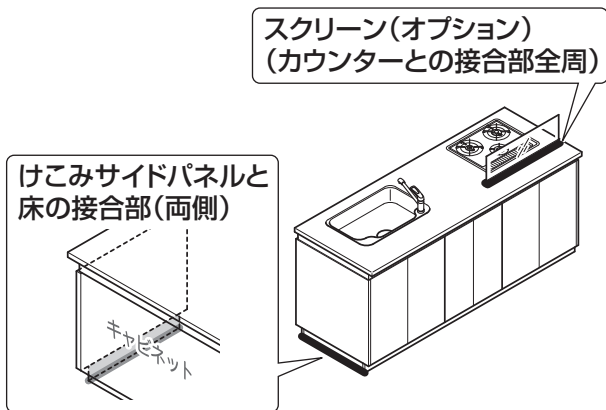
- エンドパネル(アウトセット)が付く場合



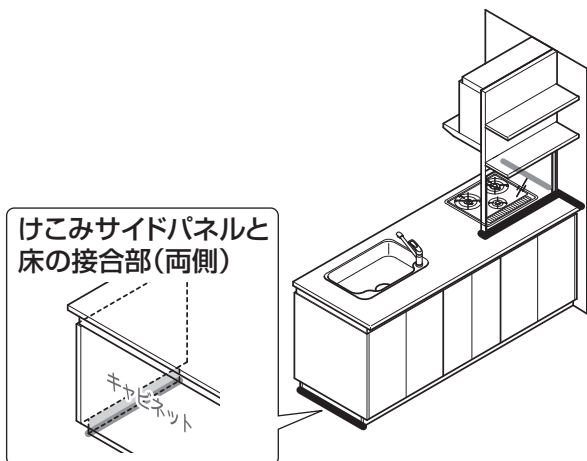
- エンドパネル(インセット)が付く場合



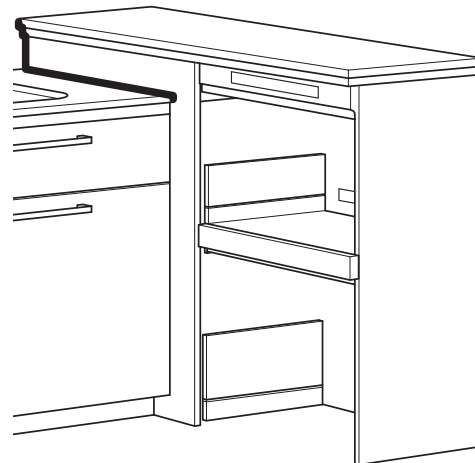
- フラット対面 (アイランド) の場合



- フラット対面 クリアパーティション(片側壁付)の場合



- I型コーナーが隣接する場合



※シリコーン色はクリアです。

※指定部以外で駆体とキャビネットにすき間が生じる場合などは、現場判断ですき間を埋めてください。(その場合のシリコーンは現場調達です。)

6. 清掃・検査・養生

清掃

すべての作業完了後、清掃を行ってください。

検査

シンクキャビネットに付属の「組立・設置完了報告書」を使用して水漏れ・外観・機能・傷などの検査を必ず実施してください。

必ず検査を実施してください。

「組立・設置完了報告書」の現場貼り付け用紙(4枚目)を養生の上から貼ってください。

組立・設置業者様控え用紙(2枚目)は持ち帰り保管してください。
発注元提出用紙(3枚目)は発注元へ提出してください。

養生

- キッチン取り付け後の設備、建築工事などで汚されたり、傷つけられったりしないように厳重に養生しておいてください。
- カウンター・シンク面の養生は特に厳重に行ってください。
- 養生材は、包装に使ったダンボールを使うか、現場手配のエアシートなどを使うなどして保護してください。
- 後仕事(配管工事など)をする方のために組立・設置説明書を養生の上からマスキングテープで貼っておいてください。

【養生ポイント】

キッチン取り付け完了後は清掃をしたあと、下記要領で養生する

